JUMP COMICS SQ.
この音とまれ！
2
アミュー

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。デジタル配信用に再編集を行っています。

Hello!!
Hi!
bye!

JUMP COMICS SQ.

この音とまれ！ 2

アミュー

登場人物紹介

久遠愛

箏曲部新入部員。祖父の大事にしていた箏について深く知るために入部する。ケンカっ早く不良と誤解されているが、仲間を大事にする心の持ち主。

倉田武蔵

箏曲部部長。先輩達の一生懸命な演奏に感動し、入部した。先輩達が卒業し、一人きりの部員となってしまっていたが、部を守ろうと奮闘する。

鳳月さとわ

箏曲部新入部員。箏の家元"鳳月会"の生まれで、数々のコンクールで受賞した天才少女。入部の動機は部を全国一位にして、自分のプロデビューに箔を付けるため!?

あらすじ

箏曲部唯一の部員の武蔵は、先輩から受け継いだ部を守ろうと新入部員の勧誘に励んでいた。愛、さとわ達5人の部員を迎えた矢先、一か月後に全校生徒を演奏で納得させられなければ廃部ということになってしまい――――!?

水原光太

箏曲部新入部員。人なつこい性格で、すぐ抱きつくクセがある。愛とは実康や通孝同様、中学の時からの友達。

足立実康

箏曲部新入部員。中学生の時、高校生相手のケンカで愛に助けられる。その恩返しとして入部を決意。

高岡哲生

愛とは子供の頃からのくされ縁。数少ない愛の理解者で、彼が起こす問題をフォローすることも。

仁科静音

部の箏の修理を依頼した楽器店のおばあさん。愛には厳しく当たるが、彼の箏への想いは認めている。

久遠源

愛の祖父で箏職人。愛を引き取り面倒を見ていたが他界する。時瀬高の箏曲部の創立者。

堺通孝

箏曲部新入部員。愛のためと言った実康を茶化していたが、彼も愛の力になりたいと考えていた。

教頭

時瀬高の教頭。愛の悪評を真に受け、彼がいつか問題を起こすのではないかと危険視している。

校長

時瀬高の校長。源とは古くから付き合いがあった。箏曲部の立て直しを温かく見守っている。

No.
Date

この音とまれ！ 2

Contents

#4 新生箏曲部始動　7

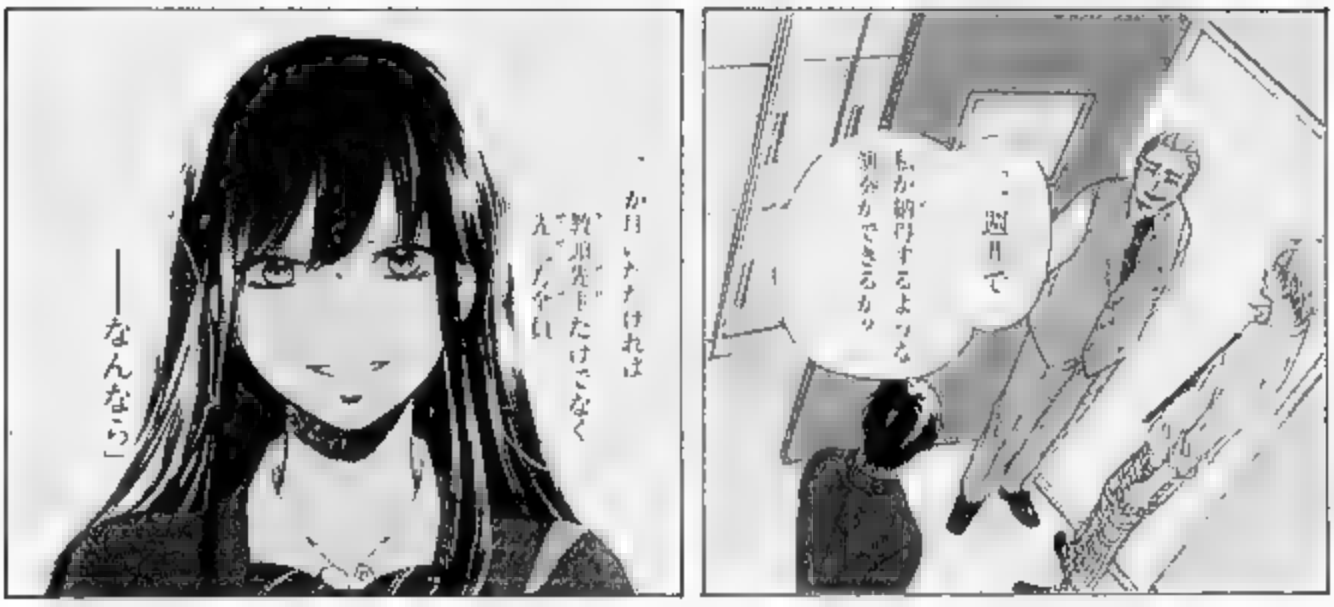
#5 出来ないこと　59

#6 初めての響き　105

#7 それぞれの想い　151

#4　新生箏曲部始動

この音とまれ！



僕たちは
か月後
箏曲部有統の
かかった演奏を

全校生徒の前で
することになった
わけで——…

1ヶ月でやること！
・練習メニュー
う——ーくん…

一か月…
体何をどうすれば…
まず経験値
もらって
それから——
——それに…
先生にも一応
報告しなきゃ…か
いやでも
それより今の目標は
メンバー…
おい
やるやつ
何か有るぞ
わいろとか
…どうしよう
あのメンツ…
今
かみ合う
気がしない…
ヴッポ…
だっ
大丈夫か
倉田!?
——とりあえず
ざっくり
筆の説明を
すると

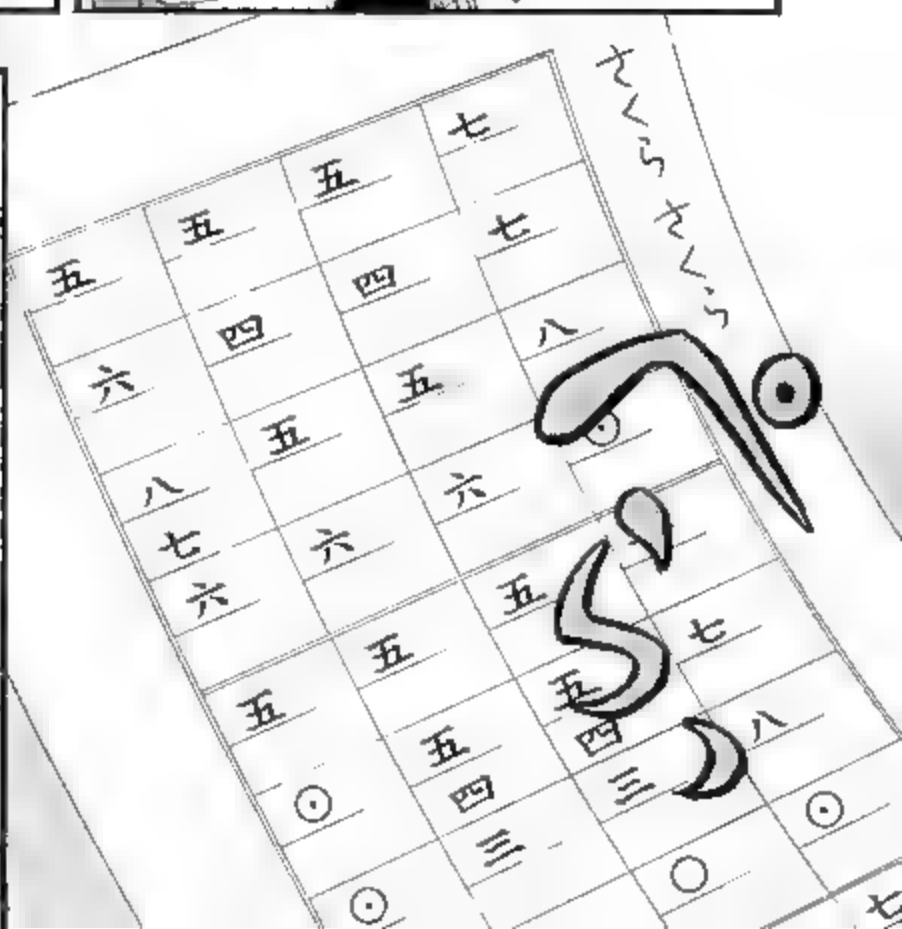
ごく一般的な
箏の絃の本数は
13本で
絃の名称は
上から
こう
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
斗
為
巾
弾くときは
糸の下に
この箏柱を
立てて
右手の
この3本の指に
爪をはめて
調絃をとって弾く
楽譜は
箏専用の
糸譜
七
七
八
七
もしくは
ピアノとかと
同じ五線譜の
いずれか
以上！
じゃあ早速
分かりやすいカンジで
「さくらさくら」
はい
弾いてみて
はや――っ
ズズズズズ
ああの
鳳月さん…
俺ら箏
超初心者でして…
てめぇ
テキトーに
やんなよ
適当？

口で説明するより
実際弾いた方が
早いから
言ってんのよ
ド素人が
口出さないで
くれる？
それとも
自信ないの？
「爭ひける」とか
言ってたくせに
ムカー

上っ等じゃねえか!!
こんなん
一瞬でひいたらぁ！
ばっ
ああもう
さっそく…

くっそ
見てろよ
あの女
さくらぐれー、
俺でも
知ってるし
こんぐれー
ヨユーで…

え呪文？


さくらさくら

何だこれ
どーすんだ

そーいや俺
楽譜見んの
初めてだった

…意味
分かんねぇ!!!

メガネにー

これはー

「教えて下さい」は？

くそっ

今こそペンキョーの成果を

えーと確か
四五六七…
お？

ぺーん

「七」!!
これか!?

おおっぽい!!

もっかい「七」
次、八…」
これか！

ぺーん

ピーン

わはは
ザマーミロ
できんじゃねーか俺！

次は――…

…目玉(めだま)…？
サァ…
…ああ…
なんか…
――20分後
やっぱ
ダメかも
しれない…
イミ
分(わ)かんない!!
ぬおお
ひざがーっ
足がーっっ
ゴロゴロ
サラサラ
もう
さくらなんて
散ってしまえ…!
ばたばた
…先輩(せんぱい)

一か月後
この箏曲部は
廃部かも
しれません
ほっ 鳳月さんまで
そんな…!!
この人たちが
ここまで弾けないとは
思わなくて
だまれや
てめぇ!!
フラ…
は
廃部…
おい!!
しょっぱなちょっと
上手くいかねーからって
さっさと投げんなよ!
俺はまだ
全然やれんぞ!
久遠君…
風化寸前だった
くせに
うっせぇ!
そっ そうだよね!
あきらめるには
まだ早すぎるよ!

それぞれが
今できること
精一杯
やろう！
メガネ
ブチョー…
じゃあ俺は
全力で足の
しびれをとるぜ
俺らも
全力で
回復する!!
そうじゃなくて!!!
ギャー
ギャー
――…
――つ…
どうにかできる
可能性が
あるとしたら
！
何!?
基本練習とか
細かいこと全部
すっ飛ばして
一か月後弾く曲を
今すぐ練習し始める
ことです

それって
つまり――
普通は
こうふむ
段階を
こうです
じゃなきゃ到底
間に合いません
でも
何弾くかも
決まってないのに
私
一つ候補曲
あるんですけど
え 何!?
……
このメンツじゃ
無理かも
ひくっつの!!
難しかろーが
何だろーが
絶対ひく!!
だろ!?
声ちっさ!!
……
の邦楽祭
の世界に触れ合う

……
あさって
近くである
邦楽のイベント
見に行く
春の邦楽祭
そこで
その候補曲も
演奏されるから
——だったら…
——！
ザワ
ザワ
集合時間
10分前…
ちゃんとみんな
来るかな…
不安
先輩
おはよう
ございます
え!?
ほっ
鳳月さん!?
Golden Age

なっ なんか
変装っぽいね…
一瞬誰か
分かんなかったよ
ああほら私
邦楽方面じゃ
かなり顔
知られてるんで
ええっ
ど…自意識過じょ…
いっいや
影えるな僕…!
他の4人は
まだ——
ああん
何だと!?
ケンカ!?
!!?
てめーら
変ないいがかり
つけんじゃねーよ!
!!!!
そっちが
んなとこ
たまってんのが
わりーんだろ!!
んだと!?
俺ら岩高だぞ
痛い目
みてぇかコラ
上等じゃねー
俺らは時
お——っ
ちょっと
何やってんの
三人共!!!
おお
メガネブチョー
何って
こいつらが
ケンカ売ってきた
からよー
こんな
バカ
相手にして
どーすんのよ
んだと
てめぇ!!
ひい——!!!
余計だこと。

おでも
よく見りゃ
かわいーじゃん
お前が相手して
くれんなら
そいつらのことは
許してやってもいーぜ？
冗談は
顔だけに
してくれる
golden age
ばっ
つこの女…！
鳳月さ…
ぐいっ

久遠君!!
久遠!?
久遠 要か…!?
ぎょ
…分かる
この女を
殴りたくなる
気持ちは

よ――っく
分かる
あ
そ
そう
分かってくれたなら
あはは
いてててて

くそっ
ばたばた
ばた久遠が
こ…
怖かった…
ただの
待ち合わせが
危うく
暴力沙汰に…

おーさすが!
最近おとなしく
してっけど
久遠の名は
健在だな!
何やってんだよ
おめーらはよ

お前も あーゆー奴 あおんなよ
こーゆー時こそ 猫かぶってけよ
うるさいわね あんたこそ 私のこと殴りたいんでしょ？ 殴れば？
あー言って 丸くおさめてやったんだろが
丸く？ 相手 肩はずれ そうだったけど
か 可愛くねぇえ～～
おっ 落ち着いて！ あとみんなもっ ケンカとか ダメだから！
え 何で？
何でって…
ケンカが 学校に知れたら あんたたちが 処分されるだけじゃなく 箏曲部にも 迷惑がかかんのよ
鳳月さん 言い方！
そ そっか 悪い…
ケンカしても ぜってーバレねえように すっから！
売られたケンカなら 悪いのは向こうだよな！
正当防衛なら 問題ないよね！
まかせろ！
ダメだ――…
今後が 不安すぎる…
さっ いこーぜ！

春の邦楽祭
――って
え…
ここで
演奏するの!?
な
なんかもっとこう
静かな会場とかで
やるのかと…
こんな
騒がしい所で
ちゃんと音
聴こえるのかな?
へえ…
このイベントは
普段あまり触れる
機会のない邦楽を
もっと色んな人に
聴いてもらおうという
趣旨のものなので
箏以外にも
尺八三味線和太鼓
色々出演しますよ
あところで
候補の曲って
何ていう曲なの?
「龍星群」です

「リュウセイグン」…？
知らない曲だ
割と最近の曲なので
でもうちの部に色々合ってると思いますよ

どんな曲なんだろ…

えー みなさん
今日は春の邦楽祭へようこそ！
今日は邦楽の魅力満載のプログラムなのでぜひ堪能していって下さいね！

ではまずトップバッター
箏曲鳳月会のみなさんに箏を披露していただきましょう！
曲目は綾瀬タキ作曲『龍星群』!!

！

ほ
鳳月会って――…

――はい

今日 演奏するのは
鳳月会の
精鋭たちです

ゴン
ガキじゃねぇか!!!
全員 小学生に 見えるけど!!?
――…
がっ…
だから?
いや だからって…
なんだこの 妙な敗北感は…
小学生が ひくような曲
俺らもやんの?

でも鳳月会の小学生ならきっとすごい上手いんだよ…
上手い…つっても俺ら箏の上手い下手とか多分分かんねーしなー
おいあの真ん中のだけなんかデカくねーか
十七絃よ
十七絃？
低音の箏ベースみたいなものよ
この曲では十七絃が中心だけど
他にも二十絃とか二十五絃とか色々あんのよあんたは知らないだろーけど
じ…十七絃…んなモンまであんのか…
フツーの箏すらよく分かってねーのに…
でもちょっと安心したよーすんごいムズかしいのだったらどーしようかと思ったけどだな

小学生でも
ひける曲なら
俺らでも
一か月ありゃ——
!!?
すっ…

っ…
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
っ——
まじか…っ
なんっ
ホントに
小学生か!?
中にオッサン
入ってんじゃねえの
っ——か
筝って
こんな激しい曲も
あんのか!!?

し…ん…
イ
ヒュオオオ
ヒュオオオ
ダッ
ドウン!!
激しい所から
気に落として
七転ソロ…!
あんなとこ使って
音出せるんだ
ヒュオオオ
ザッ…
ドウン…

Golde
——と言うわけで
今の曲を
一か月後までに
弾けるように
アホか!!!
お前 昨日
俺らのさくら
聴いてたろ!?
俺はともかく
こいつらが
今のなんて
ひけるか!
チカ お前
自分にポジティブ
すぎんだろ!
ひけねぇよ
お前もっ
ほ…鳳月さん
他の曲探した方が——
死に物狂いで
やれば大丈夫です
今の曲十七絃以外
実はそんなに難しく
ないので
三章から
成り立ってる曲だけど
一章だけにすれば
6分程度で
長さもちょうどいいし
これだけ
男子がいれば
パワーもあるし
追力も十分
出せる

Golden Age
上手くいけば
一か月後
教頭と全校生徒が
今のあなたたち
みたいに
衝撃を受ける
かも
ずべっ

ちょと風きょん！
衝撃
確かに
なんか
すげー演奏
だったけど…
全然違った
こいつの…
あの演奏とは…
たぶん

くそ
すげームカつくけど
こいつってやっぱ…
じー
何ガン
つけてんのよ
まあ別に
どーしても無理って
言うなら
他の曲考えなくも
ないけど
つまり
こういう
ことね？
小学生
以下

誰がやんねぇっつったよ！
なぁおめーら!!?
ったりめーよ！あんなんチョチョイのチョイよ！
小学生に負けっかよ！
やたるぜー
バカでよかった
ああもう
あの…でもますうちの部十七絃ないんだけど私持ってるので家から持ってきます
え!?
そんな…重いし大変だよあ僕が家まで取りに——
だっ大丈夫です!!!
えでも普通の箏より大きいし私一人で持ってこれます!!
ぴくっ
ほっとけほっとけそいつオジョー様なんだろ？おかかえの付き人とかが立派な車で運んでくれんじゃねーの
あんたは黙っててよ

バチィッ

ひーやめて！

ん？

あ

さっきのこたち…

——ん？

あの有名の人は

元気かな…？

ここには

狐りさんのおりさん。

風月さん

誰とか

かけなくていいの。

大丈夫です
……？
……
やー思ったより面白かったなー
屋台とかも出てたしな
お前ソデにケチャップついてんぞ
あフランクフルト食ったから
この後どーする？
せっかくだしみんなでご飯食べてこーよ
いーねー
まだ食うのかお前は
あじゃあどっかファミレスとか——
私は遠慮しておきます
じゃまた明日
え
あ…
あーあー
鳳月さん中身が出会った時のままならなぁ——
サネ女の子に夢抱きすぎだよー
お前も完全だまされてたろっ
俺つんつんしたのけっこーハマッてきたけど
わけは
ぎゃー
ぎゃー

くあー
あーねみい…
ん？
な…
何だありゃ…
はぁ
はぁ
さすがに
十七絃の長距離移動は
ちょっと疲れるわ…
がっ
!?
あっ
あんた！
んだよ
お前か
じゃーこれ
十七絃か

大変そーだな
手伝って
やろーかぁ〜？
にやー
へカー
冗っ談!!
あんたなんかに
持たせて
傷でもつけられたら
たまんないっつの！
ずっ
あっそ
……
わっ
「龍星群」の楽譜
もう届いたんだ!?
龍星群

よかった
これで今日から
練習できるよ！
「龍星群」の
パート分けは
十七絃と
箏が5パート
つまり
一人一パート
担当で
一人一パート？
まあ
雑に言えば
せ国!!

全員が全員
違うものを
弾くってこと

そ…
それって
つまり――…
他の人を
見ながら
ひくのも
ひいてるフリだけ
すんのもできないって
ことか…!?
カニこわめに
スパーン
当たり前でしょ
それに
ゴーン

一人二パートなら
それぞれの
責任が重くなって
逃げ出せない
でしょ
絶対
ヒュオオオオオオ
お恐ろしい…
何て恐ろしい女なんだ…
怖い上に怖い上…
久遠君まで…
大丈夫？
――…ぜ…
全っ然ひける
気がしねぇ…!!!
どーーーん

この前の
日比に続き
何だこの
ミミズみてーのはっ
他も何だ!?
色々何だ…!!?
さくらより
数万倍 意味
分かんねぇー!!!
じー…
はっ
ら楽勝楽勝
さっさと始めんぞ!
声うわずってんぞ
チカ

出だしは
私以外全員
"トレモロ"
始まり
トレモロ?
筝の技法の
一つよ
人差し指の
爪の右角を使って
同じ絃上で
素早く手ごと
動かす
こんな感じ

うおーすげーことだ！
ことっぽい！
こう？こう？わー何か楽しいね！
凪川さんのトレモロきれー！
わっ
凪川さんのトレモロ
ミミズの正体これか…！
遊ばない！
……
違う!!
そこは五の糸じゃなくて六の糸!!
何度言えば分かるの！
ひっ

わーだって
どれも同じ白い糸で
ぱっと見
どれがどれか
分かんないよー！
もっとカラフルにしてとか
レインボーとかさ…
それはもう
体に覚えさせるしか
ないの！
その内感覚で
分かるようになるから！
感覚って…
なるあ
今日はもう
終わりにしねぇ…？
感覚というより
俺の足の感覚に疑問が
そそうだね
最初から
とばし過ぎると
もたないし
何言ってるんですか
こんなの練習したうちに入りませんよ
明日からは
朝練もする予定だから
そのつもりで
は!?
朝練!!?
そそう
おいお前
あんま一人で
つっぱしんなよ
こいつらにしちゃ
これでもすげー
やってる方だぞ
うんうん
朝練なんてしたら
3日と
もたねーよ
あんたは
口出さないでって
言ったでしょ
何も分かってない
くせに

そりゃ夢のことは
まだ分かってねーけど！
こっちだって
必死でやってんだよ！
必死？
この程度で？ どれだけ自分に甘いのよ
あ!!?
ちょっ
二人ともっ
このままのベースだと
確実に部は潰れるわよ
ただ楽譜通りに弾けたところで
それはまだ曲でも何でもない
そこから曲想を練って
弾き込んで
自分のものにして
初めて人に届く曲になる

それを一か月で
やらなきゃ
ならないのに
あんたたちは まだ
どれがどの糸かすら
分かってない
スタートラインにすら
立ってない
でもそれを
やるって
言い出したのは
お前——
元はと言えば
あんたが
いるせいでしょ!!
——
……
空気重いよー
きっ 今日は
もう遅いし
解散にしようっ
ね!
立てん
ほら みんなも
……

「このままのペースだと
確実に
部は潰れるわよ」
くそ…
「あんたたちはまだ
どれかレの糸かすら
分かってない」
「体に覚えさせるしか
ないの！」
……
なんかやつれた
お前？
るせー
等って
そんな
ハードなん？
ハードっつーか
今までの人生で
一番意味が
分からん
あの女
すげースパルタだし
鳳月さん？
ふーん
じゃあ鳳月さんも
相当スパルタで
育ったんかな
は？
いやほら
教え方とかって
自分が教わった
経験に基づいて
教えんじゃん
しかも
家元の娘？
だっけ？

なーんか
大変そーだよな
色々
稽古とかも
厳しそーだし

……
「こんなの
紳士したうちに
入りませんよ」

ガタ

どこ
行くんだ？

ぺつにー
ちょっと
ヤボ用

昼メシは？

てきとーに
くう

……

「お前 あんま
人でつっぱしんなよ」

……人で…

「さとわちゃんて
なんでそんな一人で
必死なの？」

「この合宿で
コンクール申るわけでも
ないんだし
もっと気楽にやろうよ」

「私たち
楽しくひきたいのに」

「さとわちゃん
真剣すぎて
怖いよ」

「ついてけない
もう 人でひけば

鳳月さん
先輩
――昨日は
すみませんでした
筝のことになると
つい…
あや
僕こそ
部長らしいこと
何も出来なくて…

しーん…
みんなが
部活やめたら
私のせいです
その時は
どうにかして
ちゃんと――
ちょっ
待った!
みんな
そんなすぐ
やめたりしないよ!
…いや
あの3人は
分かんないけど…
まあ…

——でも
久遠君は…
きっと
どんなことがあっても
やめないよ
…なんで
あいつのこと
そんな信用
してるんですか
それは——
あそこまで
言われたら
誰だって
やめたくなりますよ

きゃっ♡
きゃっきゃっ
なんだよ
チカー
こんなとこ
呼び出して
昼メシ途中だったのにー
まさか
愛の告白ろー？
やだー
チカくんたら
3マタかける気いー？
だーも
うっせぇ!!
渡すモンが
あんだよ！
渡すモンがあって
校舎裏
呼び出すって・
少女かよ
おめーは
しばくぞ
ほらよこれ
この俺様の
お手製だ
使え
え
何——
ぴくっ
はぁ!?
はぁ!?
はぁ!?

なに――……！
あいつら…！
ぎゃーはは
っ…
笑ってんじゃねぇよ!!
ちっ チカお前…
これ作ったの？
お前が？
なんでまた…
あ!?
あの女を
ギャフンと
言わせるために
決まってんだろが！
…私…？
それで俺らの分まで
これ作って
くれたわけ？
ちかちゃんたら――
お前ら まじ
しばくぞ
いやー ちかくん
君の気持ちは
よく分かったよ
ありがたく
使わせて
もらうぜ
授業中に
でも
まだ顔が
笑ってんぞ
気のせー
気のせー
これで鳳月さんを
ギャフンと
言わせよーぜ！
じゃーなー
……
なに…
まさか
なにか仕返しでも
企んでるわけ？

これだから
不良は…
くっそ…
どがっ
所詮(しょせん)あいつの"必死"なんて……

ばっ
「チカお前これ作ったのお前が？」
なんで――!!
「あんたたちはまだどれがどの糸かすら分かってない」
「あの女をギャフンと言わせるために決まってんだろが！」
えっ何分の…？
だっダンボールで作った手作り筆…!!?

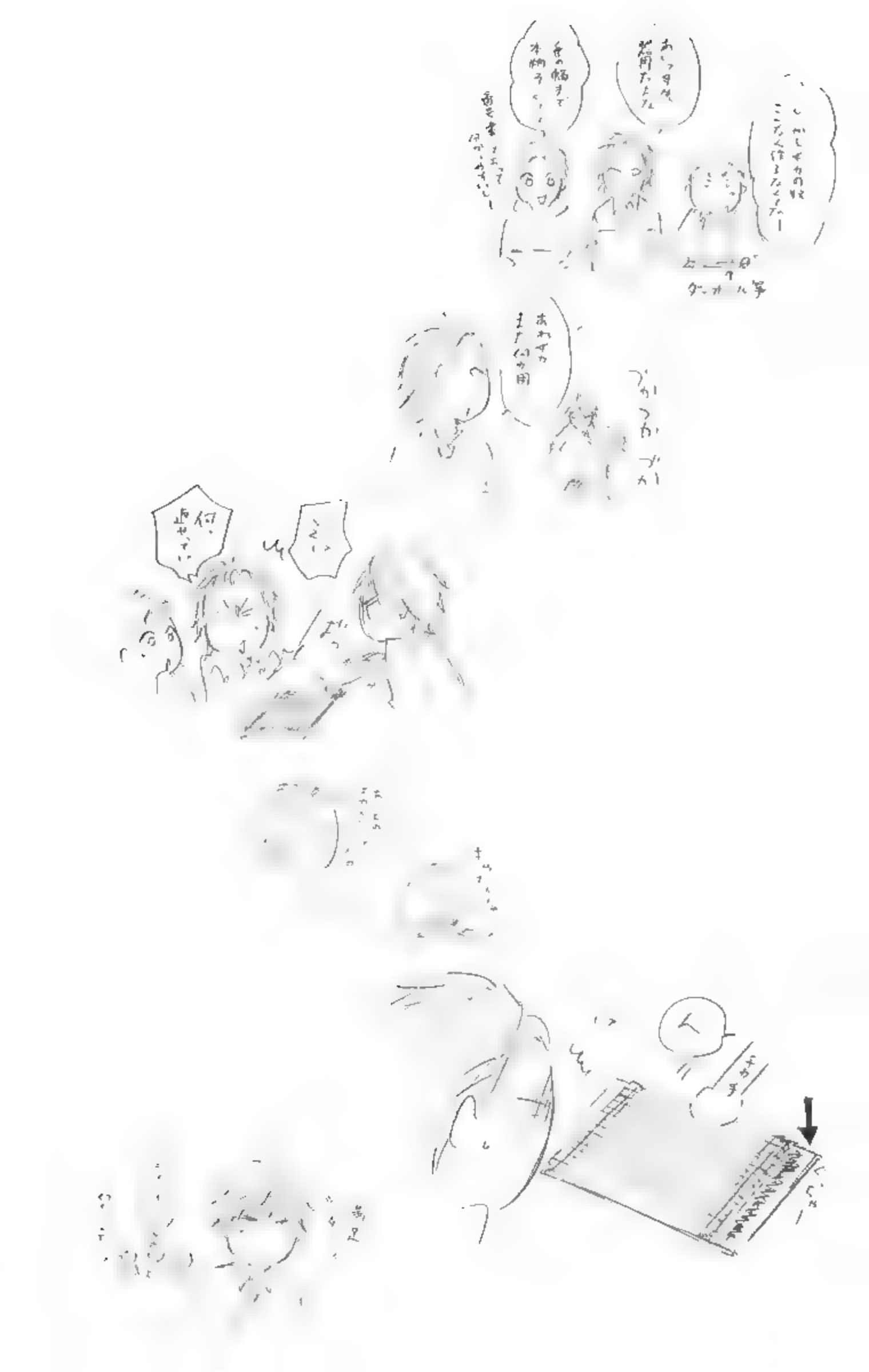
「久遠君は きっと
どんなことがあっても
やめないよ」

えーと
次五…五
それ
横に絃の名前
書くの
やめた方がいいわよ
おまっ…
ばっ
そうやって
絃の横に番号
ふっておくと
それを頼りに
弾くクセが
ついちゃうから
ちょっと趣味で
弾くとか
遊びならいいけど
違うなら
やめた方がいい

まそうしたら
あんたの場合
弦覚えるだけで
一か月終わっちゃうかも
しれないけど
あ!?
箏弾けるとか
言って
まだこんな
レベルだし
やばくね
…まあでも
その割に
あんた
箏を弾く
手の形だけは
すごく綺麗に
できてる

きっと
教えてくれた人が
良かったのね

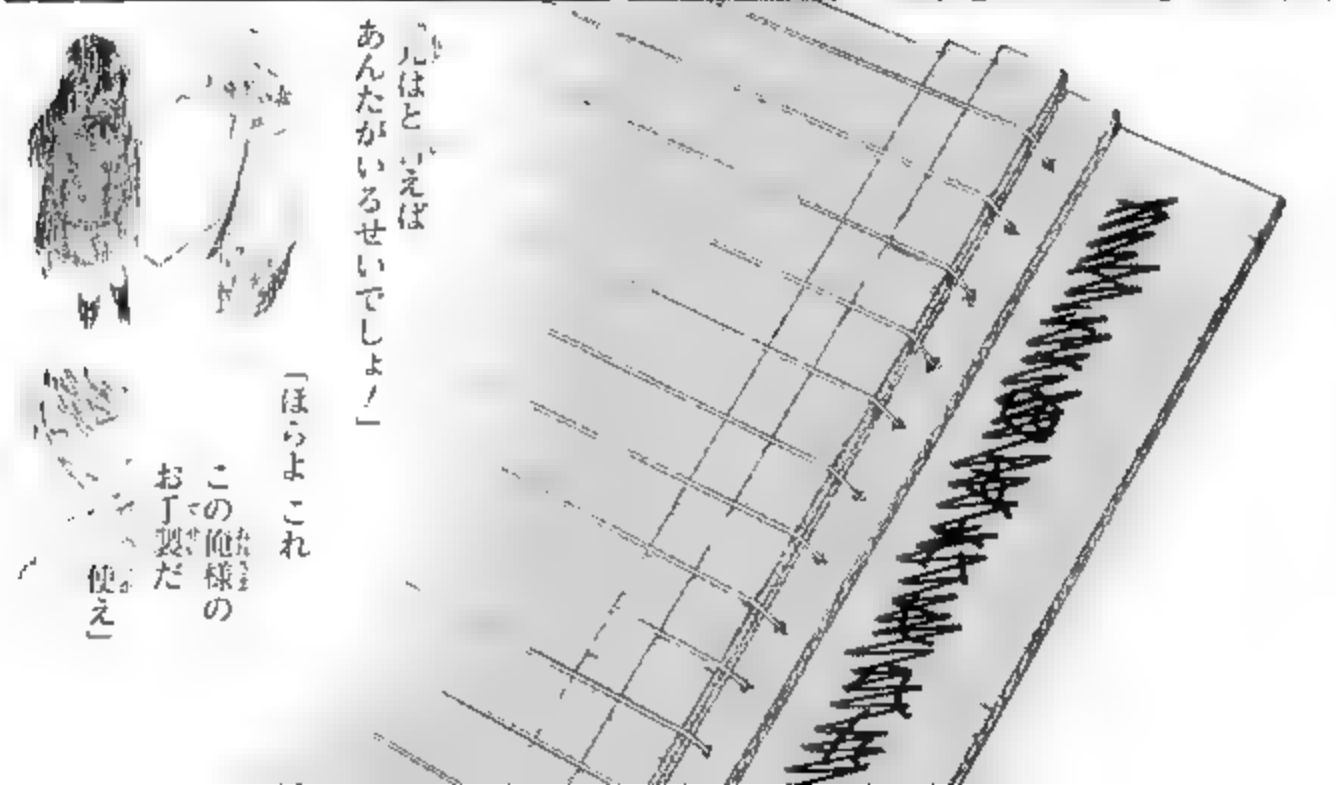
「教えて
くれた人が――…」



#5 出来ないこと

チュンチュン
バタバタバタ
わっやべ 遅刻だ！
何実康 あんたもう学校行くの？
おー 今日から 部活の朝練 始まっから
は!? 部活!? あんたが!? 何部!!
いーだろ別に なんでも

別にいーけど どーせすぐ やめちゃうんじゃ ないのぉ？
うっせ


ほらよ これ この俺様の お手製だ 使え」
「ほらよ これ この俺様の お手製だ 使え」
「ルはと えば あんたがいるせいでしょ！」

とりあえず
あいつが
真剣な限り
やめる気は
ねーよ
ガチャ

バタン
……
はあ…？

…七！
三！
…九！
ブツ
ブツ

おーい
ちゃんと前見て
歩かねーと
危ねーぞ——

見よ 俺の姿を
ピンポンパンポーン
三度電柱に
当たったぜ…
みっっ！
あはは！
トリプル
アイスみたいー！
どーよ
少しは紘
覚えたか？
うんもー
大分！
授業中ずっと
なめてたしねー

#5　出来ないこと

朝練・か！
昨日の部活……ピーン
ピーン

ピーン
足立君
糸は合ってるけど
弾き方
親指で弾く時は基本上に
はね上げるんじゃなくて
前に押し出す
感じで弾くの
？
お…
押し出す…？

サネ
俺を見本にして
いーぞ
なんせ
俺の箏ひく
手の形は
すげーキレー
らしいから
わはは

…足立君
ギターか何か
やってる？
え
ああ
ギター！…
ギターとか
やってると
ピック感覚で
そういう弾き方に
なることが多いの
…でも
センスあるから
きっと上達早いと
思う
悪いな チカ
センスは
見本見せて
やれねえや
デレッ
ぶっ
凪月さんが
ほめた…!?
それより
明日朝
何時からだよ？
え？
朝練
やんじゃねえの

！
え
だ大丈夫なのみんな――
まあ…
朝起きれっか分かんねーから期待はしねーでほしーけど
来なくても怒んないでね？
とりあえず起きようとは心がける
何か…
昨日は久遠君と旭川さんもそんなケンカしてなかったし
雰囲気も悪くなかったし
いい感じになってきたぞ…!!
筝曲部
わっもう誰か来てる！すごい気合い！

おはー
なんっでてめーは
そーいう言い方しか
できねーんだよ！
うるさいわね！
本当に
そうなんだから
しょうがないでしょ！
あんたの
理解力が
足りないのよ！
あ!?
…あれ…
ちょちょっと
二人ともっ
今度は
何ケンカしてんのっ
おおメガネ
別に…
俺のパート途中
ずっと爪使わねーで
指でひくとこあんじゃん
ああ
ピチカート？
あれがなんか
どーひいても
ぽやっとした音しか
出ねーから…
ぼーんぼーん
……
……

…なあ
どーすりゃ指で
パリッとした音
でんの
は？
こないだの
小学生とか
指でも なんか
もっとキレのいい音
出してたじゃん
なんか
コツとかー
ただの
練習不足でしょ
っ
他に
アドバイスとか
ねーのかよ！
だから
弾き込みが
足りないのよ！
あんたの
努力不足!!
なんだと!?
ギャーギャー
——で
今に至ると…
時間ねーのに
こいつケチケチして
コツもなんも
教えねー
楽して
上手くなろうなんて
甘いのよ
ケッ
たっ 多分
ぼやっとした音しか
出ないのはー
あーもー

久遠君の指がまだやわらかいからじゃないかな
やわらかい？
そう
練習を重ねれば使う指に水マメとか血マメとかができたりして
破れて治って前より少しかたくなって…
少しずつ弾く指が出来上がっていくんだ
そしたら多分今より気持ちのいいパリッとした音が出せるようになるんじゃないかな
……
きっと鳳月さんもそういうことが言いたかったんじゃないかと…
省略しすぎだろ！
うーん
…こないだからなんとなく思ってはいたけど…

鳳月さんて
あまり教えるのに
向いてないんだろうな…
多分人才肌だから…
何で出来ないのかとか分からないんじゃ…
はや――っ
指が――…
メガネ!!
…な…
何…?
ガっ

メガネより
指がやわらかい…!!!
あの女より
メガネより…!
すー
ガチャン
わりー
ちょっと
遅れちったぁ
メラ…
——で?
手作り箏の
糸をかたく
強化してんの?
おー
少しでも
本物に近く
しねーと
指きたえれねぇ
家で練習できかし
なんかなー…
箏って
持って帰れねぇの
学校の決まりで
ダメなんだと
だからって
本物なんて
買えねーし
んじゃ
せめて誰かに
借りるとか
誰にだよ
俺が知るか
箏持ってて
しかも部活後
練習させてくれる
ところなんて
そう——…
あ

科楽器
つーわけで
俺ら4人
ここで練習
させてくれっ!!
楽器
いっぱいあるし!

あたしや
あんたらの
ばあちゃんじゃ
ないんだよ!
図々しいにも
程があんだろ!!

大体あんたらに
場所と楽器貸して
あたしに
何のメリットが
あるんだい
貸し代でも
くれるのかい?

か
金はねーけど
一応…

いーじゃねえか
迷惑
かけねぇから!
あんたらみたいに
でかい子が
わらわらいるだけで
十分ジャマで
メーワクだよ!

大人ナメんじゃないよ！
じ
じゃあ――
一か月後
ばあちゃんに
すげーいい演奏
聴かせてやるよ

冥土の土産になるよーな

ウウウウウ

全く…

「――そうかい
あんた 源の孫か…」

じじいのこと知ってんのか！

よく知ってるとも
狭い業界だしね

そうかいあんたがねぇ

「――源 あんたんとこ今孫がいるらしいじゃないか
それもずい分な悪ガキだって聞いたよ」

「ああまーなケンカばっかだロクに帰ってきやしねぇ」

「あんた 体調は大丈夫なのかい？
あんまり無理するんじゃないよ」

わはは。

「何言ってんだ」

「孫と暮らせるなんて楽しくて仕方ねぇよ！」

「それに今あいつに足りねぇのは
あったかいメンと
本気で叱ってやれる
人間だけなんだ
俺が面倒見ねえで誰が見る！」

「…まあ
あんたがいいならいいが…」

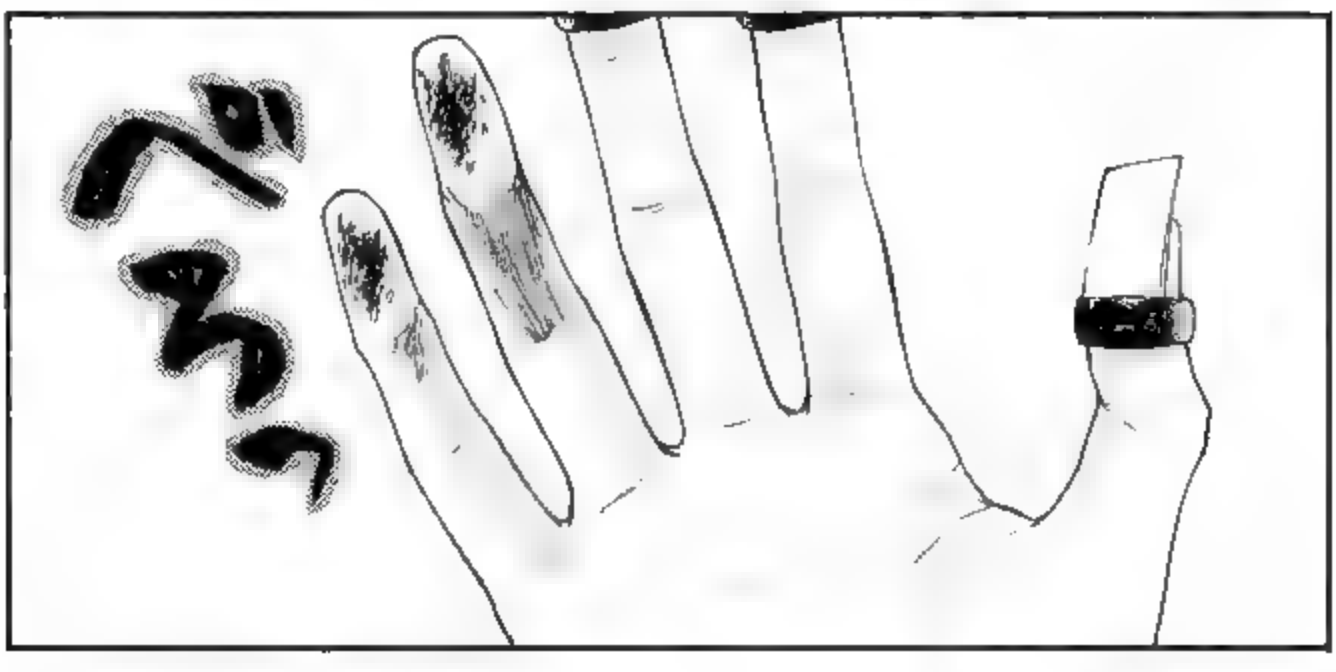
「シズさん！
開いてくれよ！」
「係が！
俺の係がなっ」
「弾いたんだ
俺の箏！
俺のつくった箏を
係が弾いた!!」
「あいつ きっと
才能あるぞ!!」

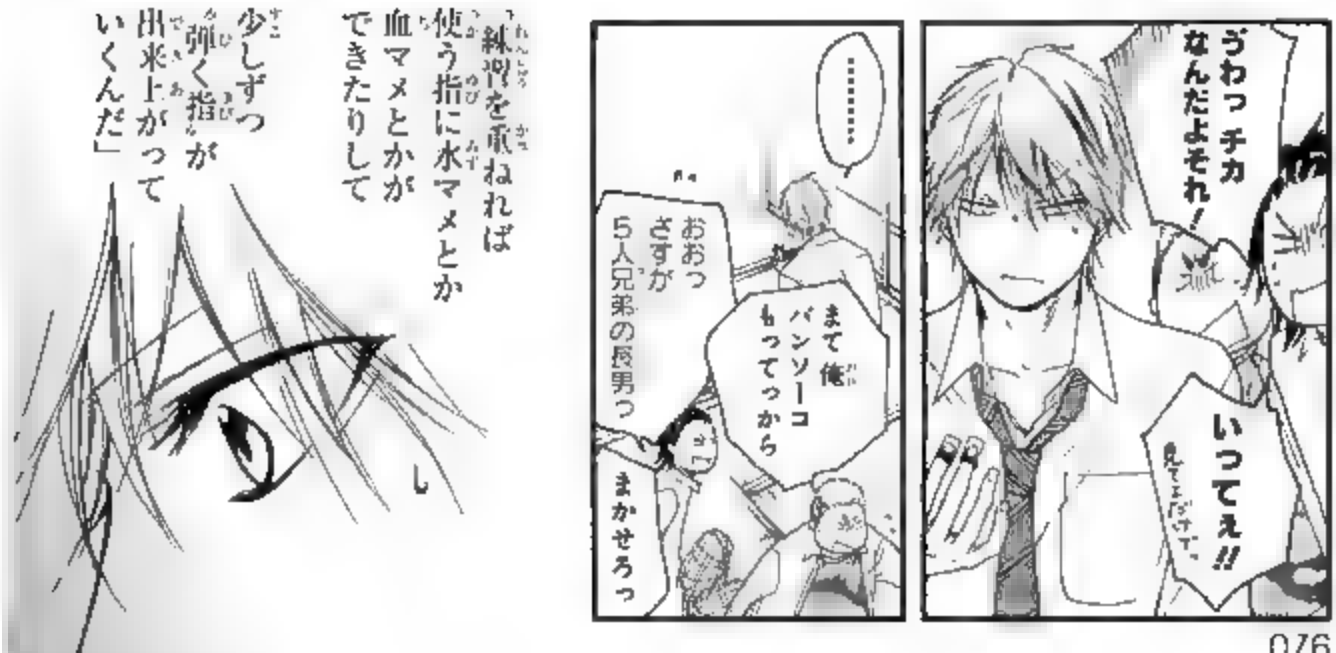
「じゃあ
一か月後
ばあちゃんに
すげーいい演奏
聴かせてやるよ」

源…
今の言葉
あんたに聞かせて
やりたかったよ
男に
二言は
ないだろうね
うん
みんな大分
様になってきてる！
じゃあもう8時に
なるからそろそろ
片づけ――…
しゅばばば
ばばばっ
お疲れ!!
バタン!!
あ…うん
お疲れ！…
？
…！

隠す相手
違わないか

ぼーん
ぼーん
人分間違わねーでひけるよーになったけどやっぱ音ほやっとしてんな
しかも指で絃ひくって予想以ーにいてぇ――!!
じん
じん


ぐろっ


うわっ チカなんだよそれ!
いってぇ!!
まて俺バンソーコもってっから
おおっさすが5人兄弟の長男っ
まかせろっ
……
「練習を重ねれば使う指に水マメとか血マメとかができたりして少しずつ弾く指が出来上がっていくんだ」

あいつらは
あの指のかたさに
なるまで
どんだけ
こーゆーの
くり返したんだ
がっ
ぼーん
ぼーん
わーもう
やめろって
チカあ！
その指
治るまで
使わねー方が
いいぞ!!
じゃあ
ばあちゃん
また明日なー
ありがとなー
おやすみー
はいはい

のび
っあー
疲れたーっっ
でもさー
俺ら大分
ひけるよーに
なったよな？
な？
おう
我ながら
なかなか
上達早いと思うぜ

それにさー
こーゆーの何か
結構楽しいよね！
秘密特訓！
思った
俺ら今まで
こーゆーの
なかったしなー
筝なんてぜってー
ひけねぇと
思ってたけどなー
なチカ
……
チカ……？
げっ
チカ
歩きながら
寝てんぞ！
すごい
器用～
これで
どこまで行けっか
記録しよーぜ！

箏曲部
いえーっ
コータも
バッチリじゃーん!!
これで俺ら
全員最後まで
ひけたな！
――す…

すごい みんな…！
いつの間に…！
自分のパート
ほとんど間違えず
弾けるように
なってる！
ね!?
鳳月さんっ
まぁ…
手は合ってます
リズムは
大分
あやしいけど
わはは
見たか！
やりゃー
できんだよ！
まぁ実際やってみりゃ
俺のパート
同じ弦をリズム変えて
ひくだけとか
多かったし！
俺のパートも
同じ手のくり返し
多かったし！
覚えちまえば
こっちのもんよ！
ピーよピーよとピよ
みんな…
すごい
がんばって
くれてる…！
鳳月さん
そろそろ
みんなで
合わせて
みない？
――…
分かりました

うおー
初の
鳳月さんの夢！
ドキドキ
お前
練習してるとこ
全然見てねぇけど
ちゃんと
弾けんだろーな？
あんたなんかに
心配されたく
ないわよ
そういえば僕
鳳月さんの弾く
聴くの
初めてだ…！
どん…
先輩
合図お願いして
いいですか
あっ
うん
じゃあみんな
さんはいっで
入ってね
なんか
だせーな
いーのっ

4小節目から鳳月さんの十七絃——…

ちょっと！
何全員
止まってんのよ！
ごっごめん！
や…何か
圧倒されちゃって…
すごい…
こんな一瞬
弾いただけなのに…
ドクン
ドクン

僕らとも
あの小学生とも
全然違う
音一音がものすごく
研ぎ澄まされた——
弾き込まれた音だ
イッ
イッ
くそ…
とーやったら
出んだ
あの志の
つえー音
ぼやっと
してないで
もう一回
最初から！
あっうん！
じゃもう一度！
さんはいっ
出だし
オッケー
如月さんの
十七絃が入って——
ピリリ
ダラララ

ここから
各パート
手が分かれる――
バラっ
ベーンベーンベーン
チッチッチッチッ
…見事にバラッバラ…
っ…
おいっ
気持ちわりー音出すんじゃねーよてめーらっ
えっ 俺は間違えてねーぞ！
俺も完璧だったぞ！

みんな手は合ってるけどタイミングがバラバラなのよ
ちゃんと周りの音聴いて！
そそっか
ごめん…
聴いてたせいですげー気分悪くなったぞ
……
あの…周りの音聴くって…
どーいうこと？
——…え？
俺もよく分かんねぇ…自分のひきながら周りも聴くわけ？
あたり前でしょ聴かないでどうやって合わせるのよ
どうって…一人一人ひけんだから同時にひき始めりゃ合うんじゃねぇの？
なっ

そんなわけないでしょ！
テンポとかリズムとかちゃんと周りと合わせなきゃ！
それぞれ自分勝手に弾くだけで合うはずないでしょ!?
そ…そうなの…？
でも周りの音聴いた所で俺何をどーすればいいか分かんねーぞ
……
え…？
ま…周りの音が聴けないって…どういうこと…？
合わせ方が分からないってどういう意味…？
どうやって聴くとか
聴きながらどう合わせるとかそんなの考えたことない
感覚的すぎて教えるなんて出来な――…
「出来ないなんて泣き言じゃありません!!」

「あなたは将来
この風月を
背負っていかなければ
ならないのよ
出来ない
分からないなんて
許されません」
「トップに立つ
人間が
しっかりしなきゃ
周りは
まとめられない」
認めてもらえない！」
「泣く暇があるなら
練習なさい!!」
風月さん
大丈夫…？
大丈夫です
とりあえず
最初から
もう一度！
……

違う！
一拍早い！
今度は遅い!!
も…
もうムリ…
どこにどう
入ればいいのか
全然分かんない…
足
足が
ふら～
俺もなんか
分かんなく
なってきた…
気持ちわり…
変な音ばっか
聞いて
っ…
なんで…？
合うどころか
どんどんバラバラに
なってきてる…
も
もう一度
最初から――
鳳月さん！
もう8時になるから
片づけなきゃ…！
置かけられちゃう
え…
あ…
……
周りと
音合わせんのって
こんな大変
だったのか…
「――
ソウキョク部？」
「何だそれ
コトひく部？」
「おう
俺がつくったんだぞ
すごいだろ！」
津瀬高の
音曲部は

「別にキョーミねえしそんなもん
人体何でわざわざ人集めてやる必要あんたよ
人でひきゃいいだろ」
「分かってねーなあガキんちょめ！」
「ちげえんだよ全然」
「一人で弾く箏の音と――」
「同じ時間を共に過ごす仲間たちと弾く箏の音ってのは
全然ちげえんだ」
「それぞれに良さがあるが
仲間たちと弾く箏の音ってのは一人じゃ絶対出せねえモンだからな
いいぞ！」
仲間たちとひく箏
「確かに一人じゃ出せねえ音だったけど…」
「同じ時間を共に過ごす仲間たちと――…」

なあ
メガネブチョー
大丈夫かな…？
ボソボソ
今日びっちりやって
一行しか
進んでねーけど…
まあ
合わせるの
初めてだったし…
チラ！
瓜川さんもきっと
どうすればいいのか
分かってない…
リズム…
合わせる…
僕の時は
どうだっけ
先輩なら こういう時——
「武蔵！
この後
みんなで——！」
あっ
あのさっ

よかったら
これからみんなで
ご飯食べに
行かない…!?
みっ
みんなで!!
……
お…
おう
いーね
いーねっ
いこーぜ
何食う?
私は
遠慮して——
あっ
ガッ

たまには
お前も
つき合え
え…
！

はいっ
もちチーズ
明太と
スタミナ
もんじゃ

お待ちっ

どんっ

うおー
最強の
組み合わせー!!!

どんどん
持ってくからねー

わっ

早く
焼こーぜ!

もんじゃは
飲みもの

?

えっ

もしかして
鳳月さん
作ってくれんの!?

えっ

まじ!?
女子の
手作り
もんじゃー!!

うおー

ヤローが
焼くより
ぜってー
うめーよ!
ありがとー

イエー

……

し…ん

あわわわ

…あれ…?

どどどうしよう…

「やり方
分からないなら
僕やるよ」

って言ったら
プライド
傷つくかな

あ…ごめん
嫌だった?
悪い
押しつけて…

嫌なら
俺ら
焼くしっ

できねーなら
できねーって
言え

分かんねーことは
分かんねーって
言えよ
誰も怒りゃ
しねぇんだから

ガーンガーンガーン
ジェージェー
あそっか
もしかして
鳳月さん
もんじゃ初めて
だった!?
ごめん
気づかなくて
……!
あの
鳳月さん…
もんじゃだけじゃ
なくて
部活のことも…
そうだよ?
ハァ——

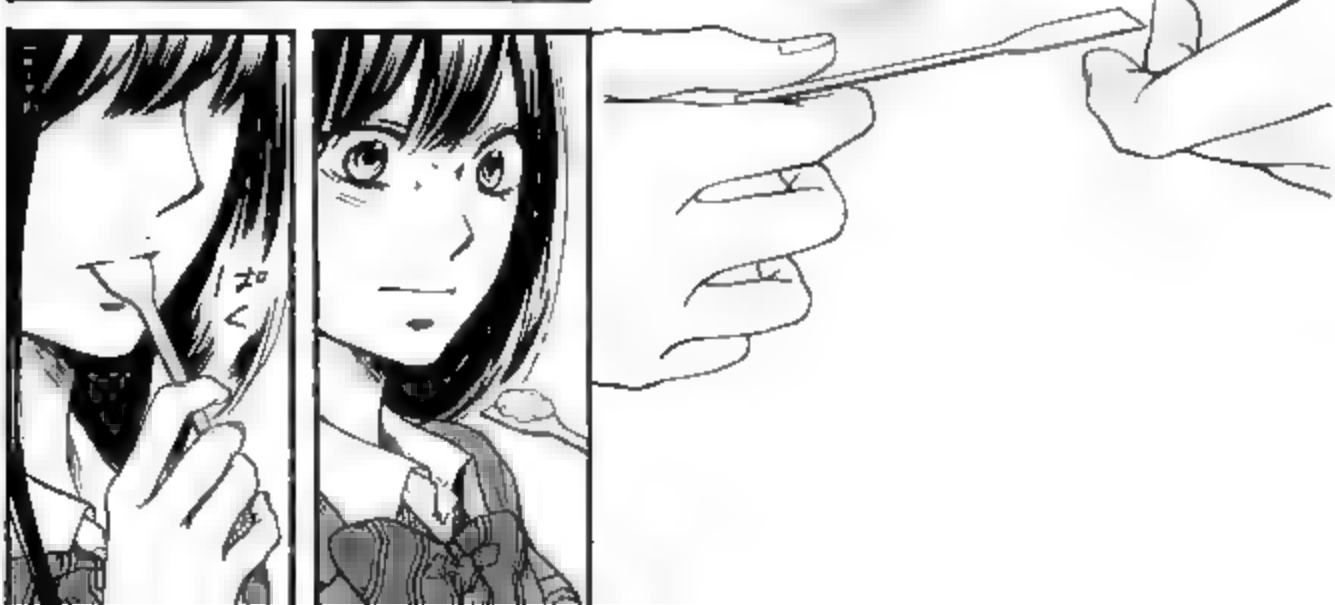
鳳月さんは
レベル違いで
上手いし
経験もあるけど
だけど
完璧でいる必要は
ないって言うか…

僕とかじゃ
頼りに
ならないと
思うけど
でも…
どうすれば
いいか
分かんない時とか

一人で
解決出来ない
ことは
みんなで
一緒に
考えよう
お
そろそろ
食えんだろ
コレ
おー
うまそー！
え
おいしいよ！

ん

こうやって
食べんの！
コゲめつけると
おいしいよ！


パク

どう？
…おいしい…
たりめーだ
俺が作ったんだからな
「出来ない
分からないなんて
言われません」
「分かんねーことは
分かんねーって
言えよ」
「二人で解決
出来ないことは
みんなで一緒に
考えよう」

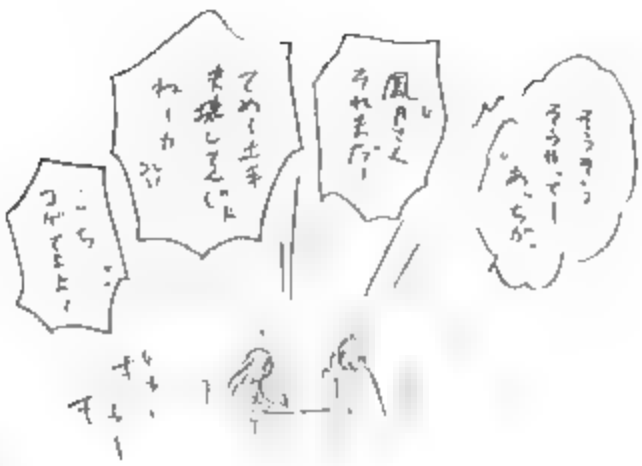
……わ…
私…
どうすれば
みんなが
合わせられる
ようになるのか
お…
教え方が
分かりません…
わっ 私が物心ついた時には
当たり前のように
出来てたしっ

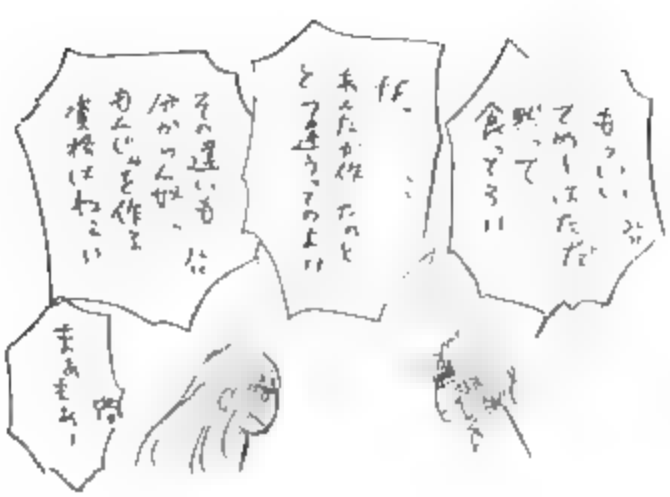
つお前は
そーゆー一言が
余計なんだよ！
ほんっとかわいくねー
本当のことなんだから仕方ないでしょ!?
合わせ方分からない意味が分からないのよ！
お前だって事以外じゃ全く周りに合わせれてねえだろ！
なっ なんですって!?
まっ まあまあ二人とも!!

話し合おう
みんなで

……
……合わせ方…かー
何か今の俺らじゃ全員で合わせるってハードル高ぇんじゃないかな
どういうこと？
いやほらバンドならドラムとかあっからテンポとりやすいじゃん？

だから
全員で合わすより
誰かに
合わせる方が
分かりやすくね？
おー
なるほど！
んじゃ お前ら
俺に合わせろ
何でだよ！
――…
俺 手拍子とかなら
合わせれそーだけど
あじゃあ最初
手拍子だけで
リズム合わせる
練習してみる？
あとはさー
楽しそう
だねー
学生さん！
ほら 特別サービス
デラックスもんじゃ！
食べな！
うおお
やり――っ
おばちゃん
サイコー！
ありがとー！





#6
初めての響き
だだだだ
チカ――っっ
鳳月さん――!!
ガラッ
一緒に部活
いこーぜー!!

なんで わざわざ
おめーらと
行かなきゃ
なんねーんだよ
まーそー
つれないこと
言うなってー
俺らなりに
色々考えたんだからよ

音を合わせる
!!心を合わせる
つまり もっと
お互いの理解を
深める
そのために
より多くの時間を
共有してだな…

じゃーな 哲生
おおー
ってオイ!!!
入学式までもなくもう友達いるのに!!
待てコラ チカ!!
ハダバダ
鳳月さんもっ ほら早く! またね 哲生!
大変だろ あいつらの相手
別に…
…高岡君は… 入らないの? 箏曲部
俺?
あいつと一番 仲良さそうなのに
入んないよ 俺時間縛られんの嫌いだから
きっぱり
…そう
それに――…

……
まあいつら
そんな悪い奴らじゃ
ないから
仲良くしてやって
……
今のが噂の
箏曲部か
ほんと
ワケ分かんねー
メンツだな
久遠に
あのフザけた
3人に
美人だけど
近寄りかたくて
色々謎の鳳月さん
で部長が
2年の
「なでしこちゃん」
だろ。
ぶっ
しかも
聞いた話じゃ
箏曲部
今度全校朝会で
教頭と
ガチバトルするらしーぜ
えっ 何それ
教頭と闘うの!?
コトを武器に!?
あー俺も
聞いた
プロレス?
デスマッチだっけ?
まじで?
まー確かに
俺も想像つかねーけど
あいつらの演奏

#6　初めての響き

1
2
3
4
1
2
3
4
はい もうすぐ
十七絃——
ダラララン
ザンッ
分かれる！
1
2
3
4
タッタッタッ
タッダンッ
二三四コト
休み——
はい入って！
一斉に——

はい とりあえず
そこまで！
ふい――っ
ついて～の
大変だ――っ
けど
やっぱ手拍子と
鳳月さんの合図
あるだけで違うね！
でも あんまそれに
頼るクセついても
困んじゃん
どう入んのか
大体分かったから
手拍子とか一回
外してみよーぜ
えっ

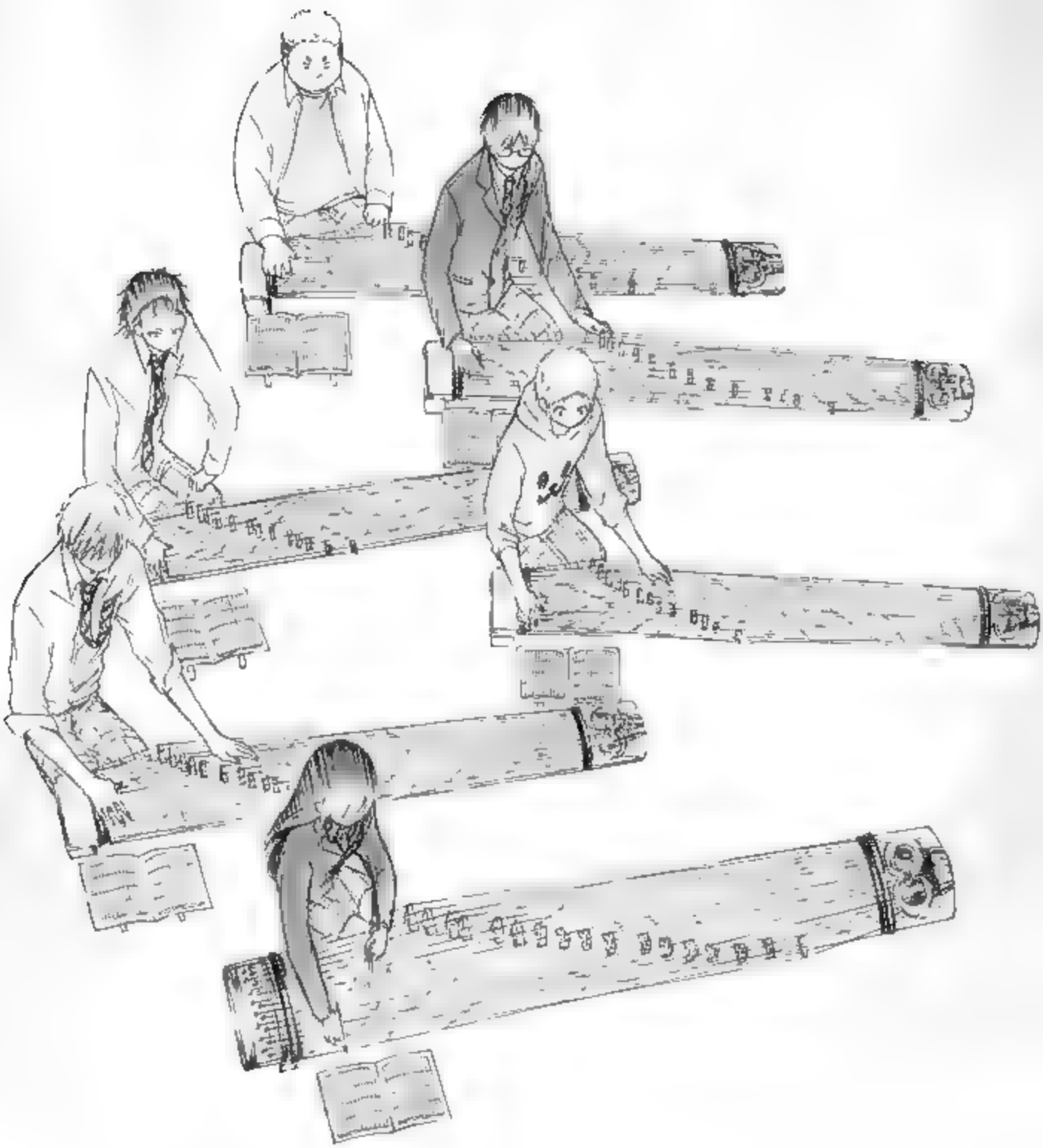
チカ
もう入るとこ
覚えたの？
ま―大体
俺も
なんとなく
分かってきたかも
俺も多分
イケるぜ！
……

水原君
焦んなくて
大丈夫だよ
僕もまだ
不安だし
一回 失敗前提で
やってみよう

……
私もなるべく
他のパートが
入りやすいよう
弾くから
わ分かった…っ
じゃいい？
いくよ——
さんはいっ

フゥ…
1
2
3
1
2
3
4
1
2
3
4

ハッハッ!!



あ

合ったー!?
うおおおっ
ねねっ 今合ったよね!? なんかスコーンてハマッた気したもん!
ばか おめーら せっかく合ったのに 止めてんじゃ——
わっせ わっせ
うおー 俺らすげー
大ゲサすぎだ!
わー

ヒュー
っ…
まあでも…
なんかすげー曲っぽかったな…

良かった…
うわ! 道は開けた!

——…

うぉー
ナカほめて！
ばちっ
ちちょっと！
これくらいで
大騒ぎしてないで
さっさと次行くわよ！
先はまだまだ
長いんだから!!
は――いっ

……

…何か増えてないかい

あバレた？

な何かすみません…

まさか久遠君たちが
ここで特訓してたなんて…
何も知らなかった…
部長なのに…

本当だめだな僕…

まあもう一人二人増えようが変わんないさ好きにしな

あ待ったばあちゃん

ん

オミヤゲ

どーいう風の吹き回しだい
金がいるぜ
べつに
あれね
一応チカなりのお礼
あれでもばあちゃんに感謝してんだよ
俺らもね
ガア
いちご大福
いちご大福
131
どれ
もう二面楽器出すとするかね
——どうだ箏曲部の様子は
はあ…
それが…

私も信じられないんですが…
連中
本当に箏の練習しているみたいで…
何…？
まさかあいつら
本気で箏を……
そんなワケないだろう！
フン…
久遠の奴
何を企んでる…
まぁいい
あともう
半月もすれば
答えが出る
箏曲部もろとも
久遠をこの学校から
追い出してやる
――問題ありませんよね？
箏曲部顧問の滝浪先生？
ええ
どーぞ
ご自由に

1
2…
ストップ！
またズレてる！
パ
パ
シャーン
シャン
くぁ――っ
せっかく最初は
合うように
なったのに次も
コレかぁ――っ
イラ
イラ
全然進まねーな
ぐだぐだ
してないで
もう一回！
まずい
また空気が
良くない方へ…
圓月さん
少し休憩しよう！
堺君一回
足くずして
休めて
すまねえ
メガネブチョー
ガラッ
ぬおおお
…
熱こもって
きたから
空気も
入れ替えよう
うぁ～～
みんなごめん～～～
ズレんの絶対
俺のせーだよね
どーしよ――

別にコータのせいじゃー
何言ってんの！
水原君もみんなもすごいよくやってるよ！
事始めて間もないのにここまで弾けてるのすごいって！
正直僕がみんなぐらい弾けるようになるまではもっともっと時間かかったし…
……
えっとだから！…
だから大丈夫！焦らず練習重ねれば絶対出来るようになるから！

しまった なんか すごい傷そう…!!
はっ
おっ えっと ごめんついっ…
…いえ ありがとう ございます
!
よ――っし 練習再開しよーぜ! 俺らなら できる!!
わっ
ちょっ待っ また足が っ
少し ダイエットしろよ お前
てかみっつだけ 立奏台 使えば?

なつかしい空気だ
――ああ…なんか
科楽器

ふんふん
じゃーこの3小節目からだんだん強くして次の2小節目で一気に弱くすんだね？
そう

なるほどねー
確かにこの方がメリハリついていい感じ！
迫力も増しそうだね

でも
強弱つけるだけじゃ
まだまだ足りない
うすっぺらい曲に
なっちゃう

ちゃんと
曲想も
練らないと

前も言ってたけど…
曲想って何？

…まあ雑に言うと
その曲のイメージとか
テーマとか

その曲が
何を伝えようと
してるのか考えて
そこに自分の
気持ちをのせられたら
もっといい

気持ちを
のせる…？

まず曲を
理解しなきゃか…
作曲者の
曲の解説とか
ないの？

何も
この作曲者
解釈を弾き手に
委ねる人みたいで

ピューン

う――ん
どういう曲…か
龍星群…

……

龍――…

「作ってのはな
龍に見立てて
つくられた
格好いい楽器
なんだぞ」

なあ
箏って龍がモデルだからなんだよな？
！
よく知ってるね久遠君
適当に言っただけでしょ
ちゃんと聞いたんだっつの！
あそっかおじいさん
……
でそれがどうしたよ？
や別に
〝龍星群〟てわざわざ龍にしてんのなんかイミあんのかと思ってそもそもなんで箏＝龍？
……
これは私が勝手に思ってるだけだけど
〝龍〟っていうのは
天と地
あの世とこの世
結ばれない
二つのものを
つなぐ存在なんだって

だからその瞳に
見立ててつくられた
夢は――…
弾く人と
聴く人の心も
つないで
くれますようにって
願いが
込められてるんじゃ
ないかと思ってる

へ……え
弾き手と聴き手の心を…
――ま
実際はちゃんと歴史的な理由あるみたいだけど
うおーなんかかっけー!!

あ
じゃあさーこの「龍星群」てなんか

だって心をつなぐ龍の星群だろ!?

そっ
それだ――!!!
前の音にのせて想いよ届け!
なつな!?
かっけーよな!?

全力で「届け――っっ!!!」って言ってるみてぇな曲だな!

なかなか
理解されねぇ
俺らの真剣な想いを
届ける曲
教頭のジャマが
入ったり
上手くいかなかったり
色々あるけど
最後には龍星群となって
でっかく届く!!
これってまさに
俺らの曲だ!!
ねっ 鳳月さん!?
あ…
「うちの部に
色々合ってると
思いますよ」
——そうかもね

――わっ
笑った――!?
鳳月さん
今 笑った!?
なっ 私だって
笑うわよ!
いや 笑いどころ
そこかおりの笑いどころ
なく!
うるさいわね!

これ
ありがとう
ございました
ああ
ここ置いといて
くれ
洗います

失礼します

あんた――…

あ
お嬢ちゃん

いいから
あんたは
練習しな

——いや
なんでも
ない
「——ざけんなよ
ジジイ
毎日意味分かんねー
楽器つくってるだけの
くせしやがって」
「はっ
ガキんちょの
お世になんさ
音の深さも
魅力も
分かんねえだろうよ
分かりたくも
ねえよ
こんなもん！
「——弾く人と
聴く人の心も
つないでくれます
ようにって」
「願いが
込められてるんじゃ
ないかと思ってる」

あ 久遠君
もう練習再開するなら
僕も——
あもう
誰か弾いて——……

え…
ドクン
……これ…
龍星群(りゅうせいぐん)の
コト(いち)…？
荒削(あらけず)り…
だけど――
芯(しん)がしっかり
してる
それに…
何(なに)この音色(ねいろ)…
――すごく
優(やさ)しくて
あったかい――
っ…!?
ざっ
い
コトって
――!?
いやでも
まさか…
あいつが
こんな音(おと)なんて――

っ――
こいつ…っ
な、なんだろう
この音色。
ドクン
芯は強いのに
やわらかくて…
久遠君が
弾いてるとは
思えない
ドクン
惹きつけられる…っ
――っと
くそ ミスった…
チッ
くっ
久遠君!!
いっ 今の何!?
どうやって弾いたの!
弾き方変えた!?
は?
何言ってんのお前
じ…
自分では気づいてない…!?
…!

…あんた
前に箏ちょっと
やったことある
みたいだったけど…
誰に教わったの？
あ？
お前には
関係ねーだろ
――じじいだよ
「あんたには
関係ないでしょ」
！
…凪月さん…
なになにー
何の話
してんの？
もう練習
再開するー？
あ
ううんっ
…！

——その日も
夜遅くまで
練習を重ねたけど
久遠君の"違う音"は
その一度きりだった
昨日のあれは
一体なんだったんだろう…
まぐれ…？
にゃー
また明日
——でも
あの久遠君の音
聴いた時
なんかすごく
あったかい気持ちに
なった…
あれを本番でも
引き出せたら
きっと教頭先生だって
久遠君のこと——…
——…
うちにちゃんとした
指導者が
いればな…
ずーん…
僕じゃ
なんの役にも
立てない…
倉田ぁ——
担任が帰りに
集めたプリント
持ってこいってよー
え
ああ
分かった

それより
あんたさあ
大丈夫なの？
？
何が？
いや なんか
噂で
あんたが一年の
不良共にパシらされて
たかられてるって
聞いたから
そうか…
周りからは まだ
そう見えてるのか…
まぁね…
部長らしいこと
どころか
先輩らしいことも
何も出来てないしね!!
——でも
それより——…
みんなが
あんなにがんばって
成長してても
周りから見れば
どうでもいいことで
評価は何も
変わらないんだな…

必死になって
練習してるけど

半月後 まず
ちゃんと全校生徒に
演奏聴いてもらえるかも
分からないんだ

ドクン

もし誰にも
届かなかったら――…

ブン ブン

いや 今から
弱気になってどうする!!!

どんっ

って

わっ
すみませー――

あ

軽音部…!!

んだよまーた
なでしこちゃんかよ
お前カゲうすい
くせによく
ぶつかってくんな

また2回目
だけど…

それより聞いたぜー お前の今のヒサンな状況！
あの久遠とその仲間の不良共にすげーからまれてるらしーじゃん！
また…
いやあの 久遠君たちは箏曲部の部員で——
おメガネ
ぎゃっははは〝部員〟!!?
まじで言ってんのお前!?
え何もしかして自分がからまれてんのに分かってないカンジ!?
むっ
違っ…本当にみんな真剣に箏を——
そーだよなー年下にからまれてるなんてハズかしくて認めれねーよなぁー
っ——

たけぞー先輩

部活
いかないんすか
もう
始まりますよ
…
どお君…

あ？
何だてめーら
うちの部長に
何か用か？
くっ 久遠…
えっ
や…
用ねーなら
さっさと散れっ
つ――
くそっ 俺ってこんなんばっかか…
ザコ感
ハンパねーな
なにかいってら
部活
いかねーの
あ
僕ちょっと
職員室に
寄らなきゃ――
あっそ
じゃー
また後で
あっ
くっ
久遠君!!

ありがとうっ
何が

「たけぞー先輩」

「うちの部長に
何か用か？」

め せ 全 国!!
等曲部

届かなかったらとか
考えてるヒマあるなら
どうやって
届ける
考えなきゃ

届けるんだ
あの場所を
守るために
ガチャ…
あ
鳳月さん！
！
珍しい
今日は一人なの？
サネと
みっつは
そーじ当番！
あなたたち
三人じゃないと
行動出来ないのかと
思ってた
まさかあ
それに…
やっぱ俺だけ
他のみんなより
ひけてないってゆーか…
なんか
足ひっぱってるし
早めに来て
自主練しよーと
思って！
——って
思ってたんだけど
よく考えたら
俺一人じゃ
調絃とれないん
だよね！
……
よかったー
鳳月さん来てくれて！

…なんでそんな
頑張ってるの？
あなたたち
別に元々
やりたかったわけじゃ
ないのに
教頭とのこと
責任感じてるなら
別に――
チカが
がんばってるから
――…え…
俺らが事
がんばんのは
チカが
がんばってるから
だよ

……
――…別に…
あいつがなんで
箏やってるのかなんて
興味ない・けど――…
――あ…

あいつが箏
やってるのは――…
おじいさんの
影響…？
あっなーんだ
圓月さんももう
知ってるんだ!?
なんだかんだ
仲良いんじゃん二人！

え
や…
そうおじいちゃん！
でもチカが箏やるって
聞いた時は
びっくりしたよー
おじいちゃんの事件も
箏も絶対
トラウマになってると
思ってたから
!!

トラウマ…？
だってさ――
――…え…？

鳳月さとわ

誕生日：7月29日
星　座：獅子座
血液型：O型
身　長：158cm
体　重：？
兄　弟：一人っ子
好きなもの：最近もんじゃが
　　好きになった
苦手なもの：冷めたご飯
学校が休みの日は：言いたくない

⚠ 言ってしまえばお箏バカです。
箏以外、色んなことに不器用です。
ちなみに「さとわ」は
サンスクリット語から。
意味は「調和・愛・純粋・創造」など…。

#7　それぞれの想い

「おじいちゃんの事件も箏も絶対トラウマになってると思ってたから」
――…え…
ほーんとあん時のチカは見てらんなかったけど立ち直ってくれて良かったよ――
なーんてちょっと賄りすぎちった☆あ 今のチカには言わないでね？
テヘ

ドクン…
俺ら大した力にはなれないけど
一緒にがんばるくらいはしたいじゃん？
しかもじいちゃんのつくった箏曲部でじいちゃんが大切にしてた箏のことちゃんと知ろうとしてさ

っ…
？
鳳月さん？
ばっ
え!? ちょっ
鳳月さん!!?
嘘…
――昔つるんでた
連中に
じいちゃん家も
じいちゃんのつくった
楽器も
めちゃくちゃにされて
引きずられて
みんなから軽蔑の目
向けられて
同じ時期に
じいちゃん
死んじゃって
――それでも

チカは
その責任を

ちゃんと自分が
背負い続けなきゃ
いけないものとして
持ってる

「楽器傷つけるような
奴に
箏弾く資格なんて
ないから」

――どうしよう

「このまま人が
集まらなくて
廃部になったら
あんたのせいよ!」

どうしよう

「あんたなんかに
持たせて
傷でもつけられたら
たまんないっつの!」

どうしよう

「元はと言えば
あんたが
いるせいでしょ!!」
っ——
どんっ
どわっ
んだよ
お前か…
！

ギョ!?
な…
泣いて…
いる…のか…?
そんなわけ
ないでしょ!
花粉症なの!
かふんしょう…
…た
大変そーだな…
っ…
しーーーん…
ごそ…
……

部活遅れんなら
メガネに
言っとく

――音楽が
楽しいんだって

俺から
見ればまだまだ
子供なれば
いいんだろ

できねーなら
できねーって言え

分かんねーことは
分かんねーって
言えよ

言わなきゃ
しねえんだから

Pocket
ごめん!!!

——あ…
あんたのおじいさんのこととか…
色々…聞いちゃって…
あんたが何で等やってるのかも…
——…な
何も知らないで
ひどいこといっぱい言って…
……
…ごめんなさい……
お前がしおらしーのこわい
なっ
人が真剣に——

つーか何
そんで泣いてたわけ？
意外かわいーとこ
あんじゃん
さとわチャン♡
ニヤニヤ
っ…
うるさい
バカ久遠!!
ぐはっ!?
まじ男だったら
ぶっ飛ばす！
信じらんねぇ～
あやまった相手に
ケリ入れるか フツー
やばかわいい
さっさと部活
行くわよ！
あ!?
「――音は
嘘をつかない
音にその人の
本質がつまってる」

あいつの音は――……
箏曲部の発表――…ですか…？
ええ
前に少しお話ししておいたでしょう？

正式な日取り
再来週の
全校朝会の時で
問題
ありませんよね？

構いませんが…
本当に
やるんですね
ええ
もちろんです！

私はこの目で
見たんですよ！
奴らが部屋で
ふざけ遊んでるのを！
連中が何を
企んでいるのか
はっきりさせねば！
何か事件が
起こってからでは
遅いでしょう！

そして全員
この学校から
追い出してやる…!!
とにかく！
再来週になれば
全て明らかに
なります！
……

にっこり
——そうですか
！

私も一度彼らの演奏を聴いてみたいと思っていたんですよ
こんなに早く聴けるなんて楽しみですね

っ…
にこにこにこ

――発表は再来週の朝会の時にって
正式に決まったよ！

うわぁあ
まじかー!!
やっぱホントに
ひくのなー!
でもいざ日程
しっかり決まると
なんか一気に
キンチョー感が…!
朝…寝坊したら
終わりだな…

うおやべえ
一気に
心臓が…
胃が痛いよー
俺人前で何か
披露すんのなんて
小3学芸会の
豆の役以来だぜ…
ドッキン
ドッキン
ドッキン
ドッキン

アホか
今から
キンチョーしてて
どーすんだよ
俺らはお前と
違って繊細
なんだよ!
つーか そーゆーこと
言ってる奴に限って
本番ガッチガチ
なんだぜきっと!

フン
——大丈夫

しっかり練習して体に覚えさせれば
本番どんなに緊張してようが頭真っ白になろうが手はちゃんと動くから
鳳月さ…
まあ今のままじゃズレて止まって悲惨なことになるだろうけど
ヒュウウウウウ
んだとコラ
とっとにかく!!
発表まであと2週間切ったし悔いだけは残さないようやれることは全部やろう!!
お…
お—…

ストップ！
そのピチカートで
弾く一行
せっかく曲の中盤
一コトソロで
目立つ所だから
もっと
芯のある音で
響かせて
あ？

何だそれ
どーすりゃいいんだよ
芯のある音ってもっと指かたくすりゃでんの？
そういうことじゃなくて…
……
……
……
この前あんたが弾いてたみたいに弾いてよ
…こ
！
この前っていつだよ
ったから
この前楽器屋さんで一人で練習してた時みたいな感じに…！
分っかんねーよそんなん！
覚えてるか！
何で覚えてないのよ使えないわね！
あ!?
わーーっっ
ほっ鳳月さんっ言いたいことは分かるけど
芯のある音自在に出すって初心者にはかなり難しいんじゃ…！
——…

——
そうですね
久遠なんかに
そんな音
出せるわけ
ないですよね
期待した私が
バカでした
ブッチーン
てめぇ 言ってくれんじゃねーか!!
おー
落ちつけチカ!
風月さん
言いすぎ!
ギャーギャー
なんでだろう…
なんか
また一段と風月さんの
久遠君への態度が
厳しくなったような…
まーでも
アレだね
どんまい
チカ☆
ぽん
大丈夫!
俺らも全然
期待してねぇ!
一行とは言え
大事~な
ソロなんだから
間違えるなよ!
ひどい
あの人
もーボーよ!
口うるさいし
どいつも
こいつも

…芯のある音…
指をかたくするとかじゃなくて…
……
……
ぽんっ

そろそろ本腰入れて練習もしとこっか
本番イスでおくんだ？
最初の入りこんな感じでもっと強くアタックして
そんな感じで抜けれたらアタックがバレーっ

俺も時間カンケイ
なにかわざわざ俺ん家で練習しなくてもいいだろ

音小さくすると手首使わなくなりがちだから気をつけて

——はっ
初めて
止まらず
最後まで
いったー!!!
皆諸でー!っ
うおー!!

わー やべー
俺泣きそー
すごいね
やったね
チカ！
じーん
いちいち
ひっつくな！
鳳月さん！
やったね!!
本番も
これくらい
弾ければ…！
わーい
やーい

ま…まあ
最低限の
レベルくらいには
なったかと

イチイチ
かわいくねーな
たまには素直に
喜ぶとか
できねーのか
「最後まで
止まらず弾く」
なんて
むしろ出来なきゃ
困るレベルでしょ
どう喜べってのよ

まぁまぁ
僕たちにとっては
大きな一歩だよ
ここからもっと
弾き込んで
いかなきゃだけど

あんたたち
お茶いれたよ
ちょっと休憩しな
！
ありがとう
ございます！

ずずーーっ
っあーー
うめーっっ
ばあちゃんの
いれてくれたお茶
好き!!
ほっとする
よねーー
そりや
よかった

なあなあ
ばーちゃん
どーよ
俺らの演奏
ニヤー
大分良く
なってきたろ
…そうだねぇ
ま 形には
なってるね
ずっ
テストとかなら
合格ラインじゃ
ないかい

なんだよ
その言い方
だってあんたたち
この演奏で
学校中を
納得させたいんだろ
そこの嬢ちゃんは
よく分かってると
思うが
曲で人の心を
動かすってのは
そう簡単なことじゃ
ない

あんたたちは
よく練習してる
手もよく
動いてる
パワーもある
——あとは
弾く時の
気持ちの
在り方じゃないかい

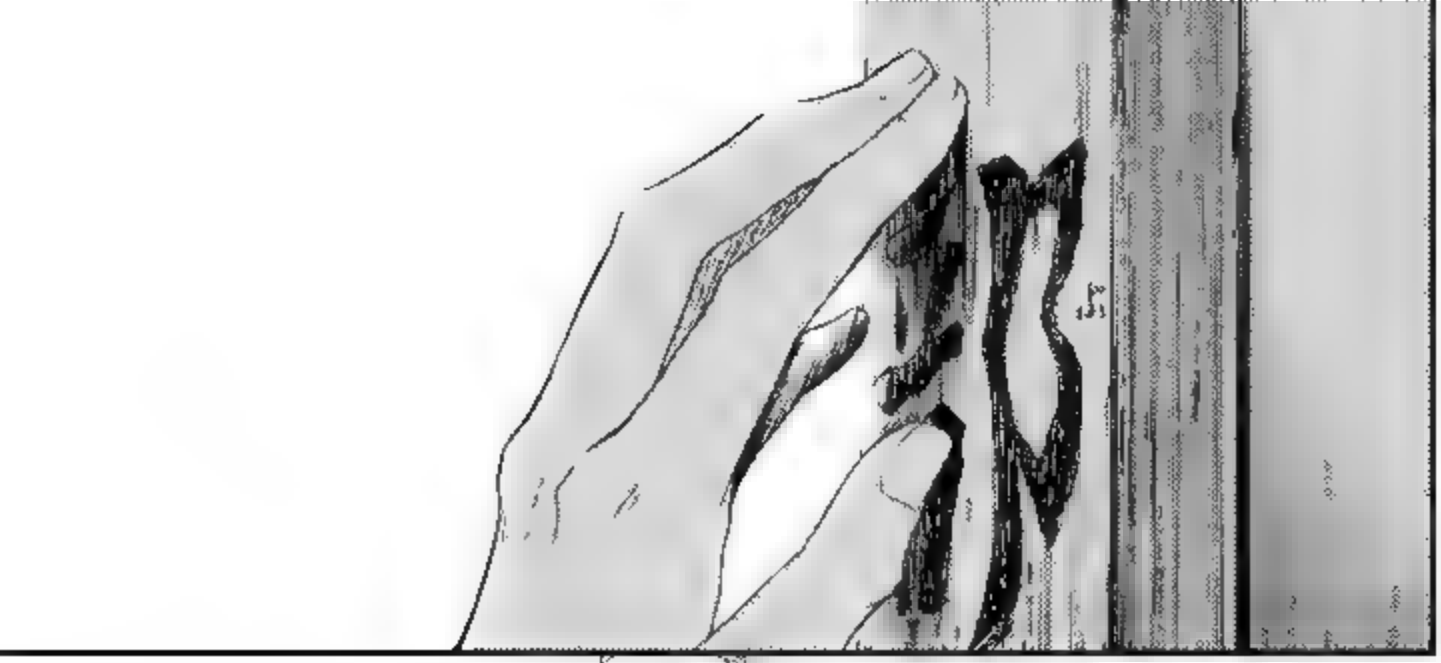
何のために
弾くのか
誰に届けたい
音なのか
ちょっと意識するだけで
音色はガラリと
変わるモンだよ

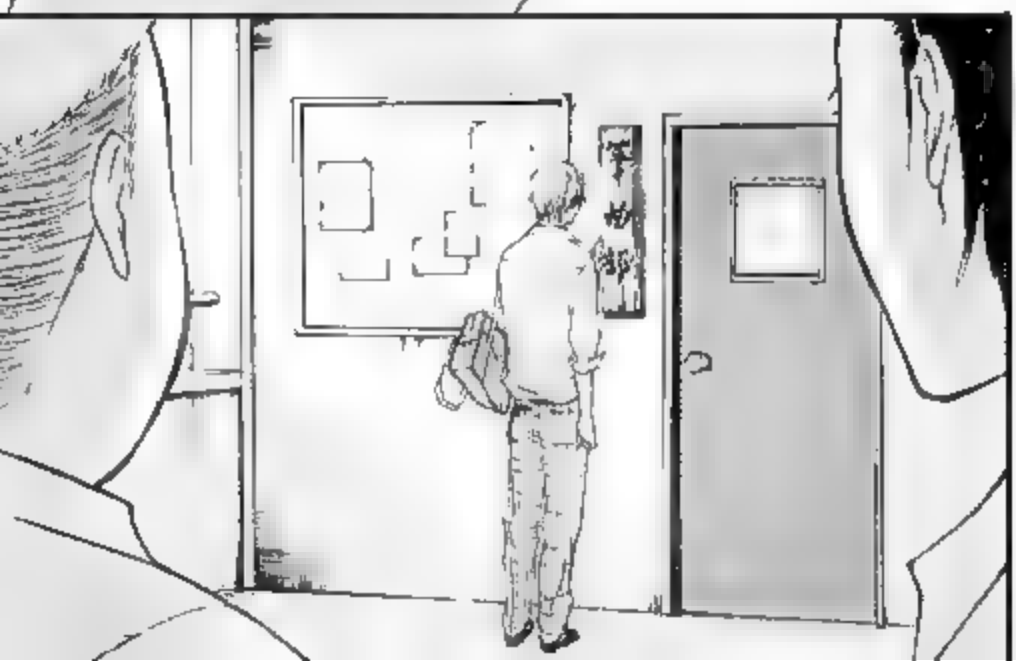
そ
気持ちの…
あり方…？

大事な人に
大切な言葉を
なげかけるように
弾いてごらん
音は言葉で上手く
気持ちを伝えられない
人のための
もう一つの
言葉だよ

不器用で
誤解され
やすそうな
あんたたちに

ぴったりじゃ
ないか
箏曲
何のために
弾くのか
誰に届けたい
音なのか」





よ――っす
チカー!!
おはよーっ
何ボーッと
突っ立ってんの!
さっさと中
入ろーぜ
いってぇな
つーか朝から
うっせぇな
ガヤガヤ
やだー
チカちゃん
怖ーい
チカ朝
不機嫌だよねー
低血圧なんだよっ
あっ 鳳月さん
おはよーっ
わ
もう楽器全部
用意してくれてる!?
今日 ちょっと
早く着いたから

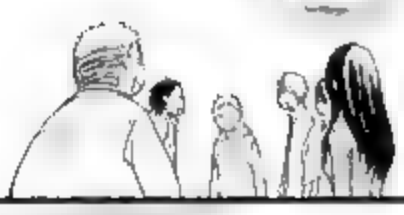
わー
ありがとう
鳳月さんっ
スキ!!
ちょっと!!
誰かれかまわず抱きつくのやめろよ
はなれなさいっ
なんでー
別にいいじゃん
ケキ
同じ箏曲部の仲間なんだから
「同じ箏曲部の仲間なんで」
――!!
ガチャ
あれっ

みんなが
箏曲部に集まった
理由は

きっとそれぞれ
違うけど

弾く理由は
きっと一つだ

——そして

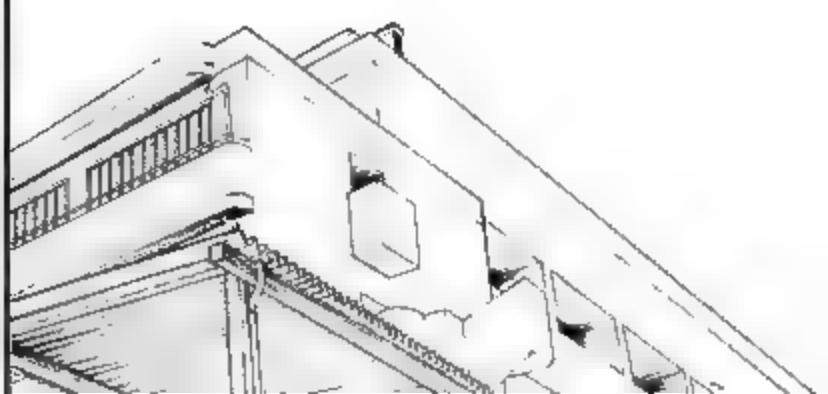


ついに
本番当日の
朝が来た

楽器は全部
自分たちで
運ぶことに
なってるから

各自 自分の箏と
立奏台持って
体育館に移動

朝会始まる前まで
マイクとか並びとか
しっかり調整して
通しで一回か二回
リハーサルしよう



カクン

ヴぉおおお
やべえ キンチョー
ハンパねぇ
俺 きのー全然
寝れなかった…
とりあえず
楽器運ぼうぜ
ガヤガヤ
ガヤー
ガヤッ

どんっ
!

ちょっと!

……

私 そっち
持つから

…十七絃の方が
運ぶの大変なんだから
あんたこっち
持ってよ

俺持ったら
傷つけっかもよ？
そしたら
弁償してもらう
ザワ
ザワ
ねえねえ
例の箏曲部VS
教頭って
今日なんでしょ？
え あれ
ホントにやんの？
冗談じゃなく
久遠とか
すげー暴れたり
すんのかなー
ハタから
見てる分には
面白そー
てか何で
箏曲部？

おがががががが
ほっ 本当に全校生徒いる
あやべ吐くかも
え 俺らまじでこれからひくの？
え まじで？
情けないわねこれくらいでビビってどうするのよ
いやいやいやムリっすムリっす
チカすげーな超落ち着い…
だらっ
てねえ!!めっちゃ汗したたってる!!!
ネー
おおい大丈夫かよ脱水症状起こすんじゃねーか
うっせぇ久しぶりにブレザー着てっからくそ暑いんだよ!!
コータにいたってはもうダメだ…
手遅れだ…!
ドッ
くそ…なんだこれ
手とかすげぇ冷てぇんだけど
心臓 耳のあたりに移動してんだけど死ぬのか俺
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ

ドッ
さっきの
リハーサル
ドッ
ドッ
ドッ
マイクとか
つけたら
なんか
音全然違えし
周りの音の
聴こえ方も
違えし
あやべ
なんか
少しびれ始めてきた
こんなんで
ひけんのか
俺ら…!!!
えー
ではこれより
全校朝会を
始めます
まずは
校長先生より!…
びくっ
カタカタカタ
——ど…
どうしよう
な…
何か言わなきゃ…!!!
ドッ
ドッ
ドッ

みんなも
すごい緊張
してる
不安がってる
部長の僕が
何かしゃわなきゃ…!!
キリキリ
でも一体
何をすれば――…
絶対
大丈夫
――…え…
何も
心配することなんて
ないわよ
みんながどんなに
緊張してようが
頭真っ白だろうが
ちゃんと手が
覚えてるから

でも前は
お前——
今なら
今のあなたたちなら
大丈夫
絶対
鳳月さん・・
じーん
ま大体
私がいるってだけで
何も問題ないし
あんたたちが
どんなに失敗しようが
私の演奏で
カバーしてあげるから

鳳月さん
ごめん
ありがとう
本当なら僕がもっと
しっかりしてなきゃ
いけないのに…
……
いえ
すみません
先輩の立場を
考えると
余計な口出しだと
思ったんですけど
いや そんな…

……
――私 前まで
合奏って
一人のミスが
全体のミスに繋がる
怖いものだと
思ってました

――でも今は
一人じゃ
足りない部分とか
欠けてる部分を
助け合える
ものなのかなって
思います
鳳月さん…
私筆のことになると
突っ走って
周りが見えなくなる
みたいなんで…
先輩にはよく
助けられてますよ

えーでは
続きまして
箏曲部の発表に
うつりたいと
思います
！

お
きたきた！
発表に関して
教頭先生より
お話があります
ザワ
ザワ
発表？
決闘じゃ
ねーの？

えー
いつもなら
ここで朝会を
終える所なんだが
今日は特別に
君たちに
見て判断して
もらいたいことが
ある

約一か月前
彼らは私と
ある約束をした
お何か
出てきた
何アレ
あれで
殴んの？

箏曲部の
存続を
認めるかどうかだ
うおお
準備しよう
まず
立奏台から

その約束が
果たせなければ
箏曲部は
今日限りで
廃部となる
ガタ
ガタン

——そして
その約束とは
今日この場にいる
全員を納得させる
演奏をするということ

ナヴッ
私からは
以上だ
箏曲部の
健闘を祈る
ザワ
え
何それ
意味分かんねー
ザワ
つーか何
コトの演奏
聴けってこと？
ケンカすんじゃ
ねぇのかよ
つまんねぇ
いやつーか
久遠だぞ
弾かねーだろ
コト
じゃあ
何なのこれ
知るかよ
つーかどーでも
いいし箏曲部とか
めんどくせぇー
つかうぜぇー
教室戻りてぇ
じゃあみんな
楽器持って
そのまま——
ザワ
なんか…
俺ら大分
アウェイな
感じだな…
別に
いつもの
ことじゃん
むしろ
こっちの方が
やりやすいわ

まあ…
それもそーか
何か一気に
楽んなったわ
俺も
どーせ最初から
真面目に
聴く奴なんて
いなそーだし
思いっきり
ひいちまうか！
もはや俺らに
恥もプライドも
ねーしな！
——うん
それに
一人じゃ
ないしね

よっしゃいこ!!

この音とまれ! 2 (完)

水原光太

誕生日：1月23日
星　座：水瓶座
血液型：AB型
身　長：170cm
体　重：58kg
兄　弟：姉が三人
好きなもの：辛いもの（ハバネロ大好き）
苦手なもの：生魚
学校が休みの日は：サネ、みっつと遊ぶか
誰か女の子とデート

⚠ 好きな人に抱きつくクセがありますが、
深い意味はありません。
嫌いな人には素直に嫌いと言っちゃいます。

足立実康

誕生日：6月25日
星　座：蟹座
血液型：A型
身　長：175cm
体　重：64kg
兄　弟：姉一人、妹一人
好きなもの：ラーメン・チャーハン・炭酸
苦手なもの：特になし
　　人の作ったものなら、マズくても食べる
学校が休みの日は：コータ、みっつといるか、
　　姉ちゃん、妹にパシらされるか
　　買い物に付き合わされるか(荷物持ち)

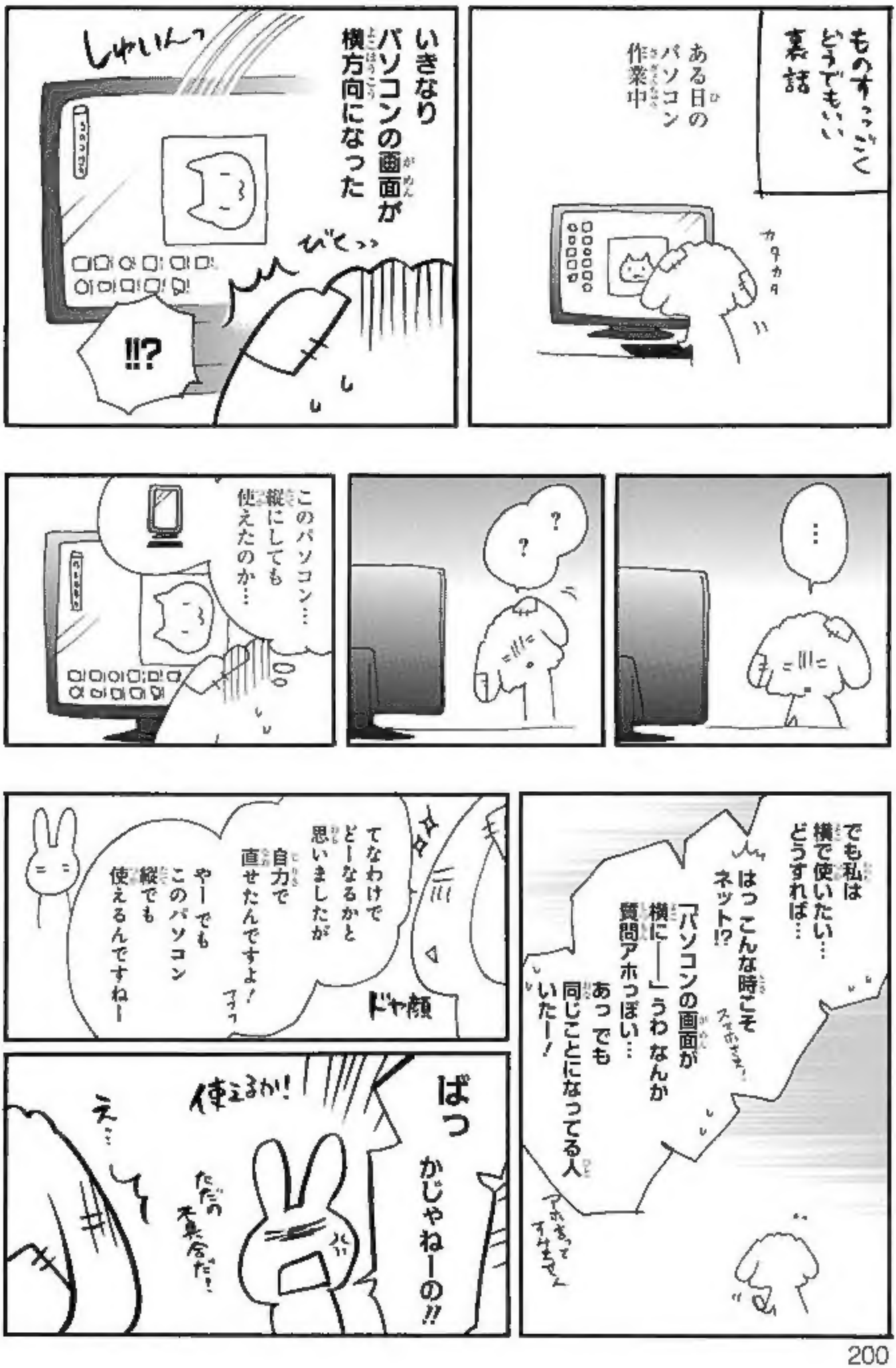
⚠ 気性の荒い姉と生意気な妹に挟まれて
育ちましたが、まだ女の子に夢を
抱くことをあきらめてはいません。

堺 通孝

誕生日：3月3日
星　座：魚座
血液型：O型
身　長：164cm
体　重：86kg
兄　弟：妹二人、弟一人
好きなもの：お腹を満たしてくれるなら何でも好き
　　薄味よりは濃い味派
苦手なもの：綿菓子(食べた気がしない)
学校が休みの日は：サネ、コータと遊びに行くか
　　弟妹の世話・家事

⚠ 今の一番の敵は正座です。
生まれて初めてダイエットしようか考え中。
妹と弟の成長に、よく涙してます。

こんなん描いちゃいましたが、実際みなさまめちゃくちゃ優しいです…。全力で頼っちゃってます…ごめ


ものすっごく
どうでもいい
裏話
ある日の
パソコン
作業中
カタカタ
いきなり
パソコンの画面が
横方向になった
しゅいん
びてっ
!!?
…
??
このパソコン…
縦にしても
使えたのか…
でも私は
横で使いたい…
どうすれば…
はっ こんな時こそ
ネット!?
「パソコンの画面が
横に――」うわ なんか
質問アホっぽい…
あっ でも
同じことになってる人
いたー!
アホちゃうすみません
てなわけで
どーなるかと
思いましたが
自力で
直せたんですよ!
やーでも
このパソコン
縦でも
使えるんですねー
ドヤ顔
ばっ
かじゃねーの!!
使えるか!
ただの不具合だ!
え…

SPECIAL THANKS

夕希 実久 様　　遠藤 達哉 様　　壱川 七宇 様
木村 聡 様　　岡野 江 様　　木ノ下 奈史 様
朝吹まり 様　　彩原その 様　　平浜 矢陸 様
浅月 舞 様　　上稚 ゆう 様　　（順不同）

みな様 お忙しい中
助けに来ていただき
本当にありがとうございました…!! ﾃﾃﾃ

担当編集
林 士平 様
頼りにしとります…!

たまに「お手紙どこに送れば
いいですか？」と聞いて下さる方が
いたりするので…
お手紙のあて先
〒101-8050
東京都 千代田区一ツ橋
2-5-10 集英社
ジャンプスクエア 編集部

コミックス編集　黒木竜介 様
コミックスデザイン　石野竜生 様
販売部　浜田絵里子 様
いつもありがとうございます!

アミュー
気が向いたれは
せぇよ…!
悠稔泣いて喜びます。

この本に携わって下さった
全てのみな様
そして読んで下さった
みな様
本当にありがとうございました…!!

家族
友だち
いつもありがとう!

3巻も
どうぞよろしく
お願いいたします!!
3巻…出るよやったー! ﾃﾃﾃ

この音とまれ！

2巻

アミュー

© アミュー 2013, 2014

初版発行　　2013年
デジタル版発行　2014年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。